

やらんば！平戸
ひと(HITO) 響きあう 宝島 平戸

広報 ひらど

Hirado City Public Relations

2008
October
10
平成20年

No.037

Contents	
特集①「島の暮らし」	▶02
特集②「私たちが描く、平戸のミライ。」	▶10
平戸城下歌仙灯笼まつり	▶16
平戸の若きアスリートたち	▶18
まちのできごと	▶20
まちのひとびと	▶22
市民の声・プレゼントコーナー	▶24
みんなの図書館	▶26
HIRADOX-change、おしえて年金	▶27
平戸遺産～キリシタン禁教の足音～	▶28
サン・ケア平戸通信	▶29
生涯学習コーナー「学びの達人」	▶30
平戸「旬」素材～カマス～	▶31
観光人材育成プロジェクト	▶32
青少年日蘭交流事業	▶34
市職員の給与と定員管理	▶36
シリーズ「協働」元気にするまちづくり⑥	▶38
平戸市からのお知らせ	▶39
情報ひろば	▶42
人口の動き・編集室からひとこと	▶44

撮影地：世界遺産文化的景観候補地-春日地区の棚田

Hirado City Public Relations



Hirado city Public Relations
2008.10 No.37
広報ひらど 平成20年10月号



SAVINKI 大豆油インキを使用しています。

【編集・発行】平戸市総務課 〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-2419
URL http://www.city.hirado.nagasaki.jp E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp
印刷/有限会社ケンホクプリンツ

E V E N T I N F O R M A T I O N

平戸市福祉健康まつり

～健やかで笑顔とやさしさがあふれるまちづくり～



▲平戸市福祉シンボルマーク
福祉の「ふ」を原型に、助け
合い(相互扶助)をイメージ
しています。

10月19日(日) 平戸文化センター(入場無料)
午前9時30分～午後3時15分

■アトラクション紹介

盲導犬ふれあいコーナー(正午～午後1時)

九州盲導犬協会総合訓練センター指導員から盲導犬の基本的なことを学んだあと、アイマスクをして盲導犬と一緒に歩く歩行訓練を実際に体験できます。

キッズ広場「つくって遊ぼう」(午前9時40分～正午)

講師 高野 幸恵氏(おもちゃコンサルタントマスター)
※幼児～小学校低学年を対象

各種相談コーナー

○身体測定○健康相談○乳がん相談○リハビリテーション(テーピング、ストレッチ指導など)○障害者福祉相談○禁煙○薬の正しい飲み方○脳年齢テスト○食育など

※乳がん検診車で検診が受けられます。(自己負担金500円、30歳以上女性、人数に制限があります。)

障害者スポーツ体験

障害者スポーツの紹介、「ユニカール(陸上のカーリング)」の体験ができます。

アニメ上映(午後1時10分～午後2時40分)

個性豊かな森の仲間たちが登場する『森のリトル・ギャング』を上映します。

※そのほか、福祉施設・団体による作品展やバザー、もちつき、呈茶、保育園児・平戸祐生園のみなさんによるアトラクション(午前9時50分～)、遊具広場もあります。
※献血車も来ますので、ご協力をお願いします。

第5回平戸市民生涯学習講演会



井上わこ氏
盲目の演歌歌手
盲導犬普及活動家

演題

『試練を乗り越えて』

午後1時10分～午後2時40分

【プロフィール】

昭和22年、鹿児島生まれ。昭和57年、広島市内で乗っていたタクシーの追突事故による後遺症で徐々に視力を失う。暗黒の世界に対する恐怖から自暴自棄になり、ついに自殺未遂。しかし、入院中にテレビから流れてきた「人生」という演歌が琴線にふれ、頑張って生きていこうと心の目を覚ます。昭和62年、40歳で演歌歌手として全国デビュー。講演活動やカラオケ教室での指導の傍ら訪問活動や盲導犬キャンペーンを展開している。平成20年、第38回毎日社会福祉顕彰を受賞。

お問い合わせ 福祉事務所総務班(☎内線2561)

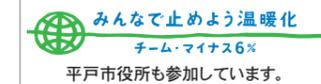
◎今月の表紙

谷あいに広がる美しい棚田が特徴的な春日町からの一コマ。文化的景観(地域の風土に根ざし、営まれ、作り出されてきた場所)として、世界遺産の候補地にあげられている生月・平戸西海岸地域。春日町(表紙)をはじめ、多くの地域に残る棚田や放牧地、それに関連する集落が、関係者から高い評価を得ています。



◎人口の動き

■平戸市人口/37,584人(-23)
男性/17,618人(-20)
女性/19,966人(-3)
■世帯数 14,454戸(+3)
※()は、前月との比較
平成20年9月1日現在



平戸市役所も参加しています。

Editorial

編集室からひとこと

普段生活していると気付かないことがたくさんあります。今月号では、「島の暮らし」と題して、度島地区を舞台に離島地域の暮らしの現状にスポットを当てました。モニターツアーを通じて気付いたふるさとの魅力。度島地区では、今大きくまちが変わろうとしています。ふるさとの未来に「不安」を抱えている地域の現状、今こそ地域が手を取り合わなければならないと感じました。

今月号は、この夏全国大会に出場した平戸の若いアスリートたち取材しました。柔道、相撲、空手などそれぞれ種目は違いますが、どの選手も「誰よりも強くなりたい」「試合に勝ちたい」という思いがひしひしと伝わってきました。今回取材した選手以外にも、まだ頭角を現していない選手が、平戸にはいると思います。好成绩を収めたときは、お知らせください。取材に伺います。



“田舎暮らし”が全国的に注目を集めている。それは、都市部と地域の格差が生じた現代において、人々が「地域」に心の豊かさを求めていることを表している。今回、モニターツアーを実施した離島地区である度島の現状とは・・・。

「島」に生きる島民の暮らしと漁業



度島地区の経済を支える漁業の現状

全国的に、過疎、高齢化が進む中で、この度島地区でも将来に不安を抱える人は少なくありません。島民の流出と漁業の衰退に加え、追い討ちをかけるように燃油価格高騰の問題が漁業者のみならずを苦しめていました。さらには、漁獲量の減少、魚価の著しい低下、後継者不足の問題など漁業者を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。「何のためかきばりよるかわからん」と、漁業者の悲痛な叫びが胸に残りました。

度島地区の経済を支えてきたのは、農業と沿岸漁業で、特にまき網漁業への依存が大きいものでした。しかしながら、東シナ海を中心とした資源の減少や燃油価格の高騰を受けて厳しい経営環境にあえいでおり、将

漁に生きる島 度島

平戸港からフェリーで40分、平戸本土北端から3キ離れた度島は、イカ釣り、定置網漁、素潜り漁、アゴ漁などの沿岸漁業と沖合漁業に従事する乗組員を多く抱える漁業集落です。9月1日現在、893人(260世帯)が暮らしており、人口は年々減少傾向にあるものの、漁業に携わる人が多いことから若齢層が多く、児童・生徒数も離島地区の中では比較的多い方に入ります。

雇用の場の不足

「働く場所がない」。島民流出の背景には、雇用の場の不足がありました。また、フェリーの便数など難しいと島民のみならずはいます。島内に雇用の場が無ければ、将来を担う若者は必然的に職を求めて流出してしまいます。島民の流出は、地域活力の減退とコミュニティ活動の衰退を生み、集落としての機能を維持することさえ困難になります。漁業の安定と雇用の場の確保は、今、度島地区にとって最大の課題なのです。取材をしている中で、ある漁師

の方がこう言いました。「俺たちは、ふるさとをどうにかしたいとずっと思いながら、もがき続けよるとよ」。この言葉に、島の暮らしの現状がすべて詰まっている気がしました。過疎化、高齢化、産業の衰退、雇用の場の不足、これは何も度島に限った問題ではありません。今私たちが暮らしている地域すべてに置き換えることができるのではないのでしょうか。

今夏、離島の度島地区では、島外との交流拡大により、水産物の販売促進につなげようと、田舎暮らし体験とテレビ放送による旅番組収録をかねた、度島まるごとモニターツアーが、度島地区漁業集落の主権のもと実施された。全国的に、限界集落と呼ばれる共同生活の維持が危機的な状況にある地域が増えてきている中で、度島地区を例に、“島(離島の漁村地区)”が抱える問題点や課題、そして今後の取り組むべき方向性について探ってみた。



特集
Special Edition

島の暮らし

度島まるごと体験モニターツアー



度島まるごと体験モニターツアー
「島で見つけた宝物！平戸・度島の旅」と銘打って、佐世保市立世知原小学校の児童を招いて交流体験が行われた。この交流が目指したものの、そして、浮き彫りになった地域の課題、度島地区の存続・再生のヒントがこのツアーで生まれた。

「交流」の目指すもの 課題への気付き

島の暮らしを 地域活性化の資源に

度島地区の存続・再生を考えた場合、目前に広がる海を対象とした漁業に依存せざるを得ません。そのため、漁業生産を安定させることがまず基本となります。

また、生産の安定と同時に、生産物をいかに付加価値を付けて高く販売するか、あるいは、未利用資源をいかに活用するかという対策が必要です。市場出荷に依存する流通構造を自ら変革し、新たな販売の選択肢を増やすことが未来の「鍵」を握っています。

さらに、漁業と海を題材とした産業のサービス化、いわゆる島の暮らし

り実施されました。また、その様子をテレビカメラで収録し、全国へ向けて度島をPRしようと、テレビ関係者も同行しました。

ツアーでは、磯遊びをはじめ、カゴ漁体験やトコロテン作り、夏野菜の収穫、海鮮バーベキュー、魚の燻製作り、度島の伝統芸能である県指定無形民俗文化財「度島の盆ごうれい」への練習参加など、子どもたちは、普段接することのない島の暮らしを満喫。子どもたちの表情からも今回の企画は、離島であっても「豊かな自然」と「本物の田舎暮らし」が地域活性化の資源だと実感できるものでした。

交流人口の拡大と期待

交流人口の拡大は、度島産の水産物の販売促進につながり、さらには島への宿泊・飲食などさまざまな消費を生み出す可能性を秘めています。全国的に過疎化や少子高齢化が進む中で、農山漁村集落が衰退するか生き残れるかは住民のみなさんの自立

（自覚）と努力にかかっているといっても過言ではありません。つまり、住民が共通認識として、どれだけ「危機意識」を持てるかということ。島の未来を考えれば、島の漁業を守り、若者が暮らせる地域づくりを目指して立ち上がらなければなりません。そのためには、都市部との交流を活発化させることが一つの有効手段と言えます。さらに、度島における流通実態を考慮した場合、販売方法を広げることが漁業収入の安定につながるかと考えられます。交流事業の継続により、度島の既存の流通にとどまらず、新たな販売方法が見つかる可能性も高くなります。

ありのままの暮らしを 観光客に伝える

これまで、度島地区を訪れる人は釣り客がその多くを占めていました。仮に今後、度島地区が「島の暮らし」や「本物の田舎暮らし」が体験できる島として観光客の受け入れを始めた場合、大切なことがあります。それ

は、各地が体験型観光に着目している今日、豊かな島の自然の体験だけでは、他地区との差別化を図ることは難しく、その体験を通じて、島のありのままの暮らしを伝えることができないれば、多くのリピーターが来島して地域活性化の要因となることはないということです。この取り組みを支えていくためには、地域の関わりが重要であり、人や地域が一体となって取り組むことが重要です。作られた体験ではなく、普段のありのままの暮らしを体験してもらうことが多くの人の心を惹きつけるのです。体験を通じて地域の歴史や生活文化、風土が伝わらなければ交流人口の増加は見込めません。観光客に度島らしさを感じてもらおうのは、立派な体験施設でもなければ、宿泊先でもありません。大切なのは、その地域の「人」なのです。その地域の産業や文化を、その地域の言葉ややり方で語り、体験させてくれる人を通じてこそ、「島の暮らし」「本物の田舎暮らし」の魅力が伝わるのではないのでしょうか。

新たな試み モニターツアーの実施

今回実施された交流事業は、海に面していない世知原小学校の児童4人と生月町出身の尾崎勇氣（元閣脇「隆乃若」）さんとレポーターが度島を訪ね、漁業者の自宅に2泊3日ホームステイをして、度島の自然を満喫するさまざまな体験を繰り広げ、「生三忘れない夏休み」の思い出作りとして、8月5日から7日までの3日間、度島地区漁業集落の主催によ

しを地域活性化の資源として活用することが求められています。そのため、島を訪れる交流人口を増やすための仕掛けが必要です。

普段はあまり食べないけど、 魚がもっと好きになりました。

安永 浩太さん
(世知原小学校6年)



度島での一番の思い出は、度島の子どもたちと一緒に泳いだことです。世知原には海がないので、すごく楽しかったです。普段、魚はあまり食べないけど、度島で食べた魚はとてもおいしくて、それ以来、魚がもっと好きになりました。今度は、家族全員で度島に遊びに行きたいです。

度島のみなさんがとても優しく 接してくれて嬉しかった。

大石 寛さん
(世知原小学校6年)



度島では、たくさんの体験をさせてもらいました。海の暮らしを体験できて本当に良かったと思います。体験を通じて、自然っていいなって心から思いました。度島のみなさんがとても優しく接してくれたので、楽しく過ごすことができました。また、度島に行ってみなさんに会いたいです。





島の暮らし



ホームステイ受入先
古川 勝彦さん宅



世知原小学校6年生の大石寛くと安永浩太くんの2人がホームステイした古川家。古川家には、親戚や近所の子どもたちも毎日駆けつけ、まるで昔からの友達のように仲良く過ごしていました。



ホームステイ受入先
福畑 敏光さん宅



世知原小学校5年生の久住呂大志くんと3年生の妹・理彩ちゃんがホームステイした福畑家。ちょっとシャイな2人でしたが、福畑家のみなさんの温かい受け入れに、次第に心を開いて楽しく過ごしていました。

INTERVIEW

古川 勝彦さん
(度島町)



度島の未来のために、 今こそ地域が一つになるとき

平戸市漁協青年部連合会に入るまで、私は、度島のことしか知りませんでした。しかし、他所の地域を見ることで新しい気づきがあり、また、度島の魅力も感じました。度島には、他所の地域に負けないモノがたくさんあります。今こそ地域が一つになって、ふるさとを盛り上げていかなければならないと感じました。

INTERVIEW

福畑 恵子さん
(度島町)



度島の魅力を改めて 感じる事ができました。

私たちが「度島には何も無い」って思っていたら駄目なんだと今回のモニターツアーを通じて感じました。他所から訪れる人が度島に来て感じるこそ度島の魅力になるはず。今回度島を訪れた4人の子どもたちに、逆に度島の自然の素晴らしさを教えてもらったような気がします。

入を得るといふことにあります。大石くんの言葉が、まさに今、度島に必要なことを表していました。

**ふるさとを思い
一つになった度島地区**

現在、市では協働によるまちづくりを進めており、各市内小・中学校区を単位に、市民のみなさんと行政が一体となって、まちづくりに関する地域の課題・問題点の解決に向けて話しあう「平戸市やらんば会議」を開催しています。

度島地区のやらんば会議では、「度島地区を活性化するには？」をテーマにワークショップ形式での活発な意見交換が行われました。活性化するための課題や解決策などさまざまな意見が出る中で、特に「海産物の加工を行ってみたい」との声が多く出されました。次回のやらんば会議では、加工などの専門家を招へいすることになっており、今後、度島の特産品の開発に向けて、地域が共通認識のもと動き始めています。

これまで、度島地区において「特産品を作りたい」「加工場があれば・・・」との声は、地域の中で多く聞かれたと言います。「結局、度島が生き残っていくには、観光客を呼んで、度島をもっとPRしていかなければいけない。みんな思いはあるけど、何から手をつけていいかわからないんだと思います」と、ある漁師の方はこう話しました。今回のモニターツアーの実施、やらんば会議を経て、度島地区は、今、思いを行動に移す段階にきています。これまで、くすぶり続けていた「ふるさとを何とかしたい」という思い。それが、今、「島」の魅力を改めて再認識し、地域が一つになるうとしていきます。「度島の特産品を作りたい」という思いが現実になれば、自ずと海産物を加工する工場が必要となります。それは、新たな雇用の場の創出につながり、雇用の場を求めている度島地区にとって、地域活性化の大きな柱になることは間違いありません。

また、島民流出の抑制にもつながり、漁業の活性化を促す可能性も秘めています。度島地区の未来への展望は、地域のみなさんが一つになって初めて、「光」あるものになるうとしていきます。度島地区は今、ふるさとの存続・再生へ向けて大きな一歩を歩み始めました。

「お土産を買いたいんですけど、どこか買える物があるところありますか？」と世知原小学校6年の大石寛くんの言葉に、シヨックを受けたというホームステイを受けた漁師の古川勝彦さん。度島には、お土産品が無く、それを買う店もありません。そのときの大石くんの寂しげな表情が今でも忘れられないと古川さんは言います。

度島地区の暮らしは、今回のモニターツアーを通じて、交流人口の拡大に可能性を見出したものとなりました。その一つとして体験型観光が期待されています。しかし、今後においては、それを事業化できなければ地域へのメリットはありません。体験型観光に取り組む地域の中には、交流人口の増加が必ずしも満足できない現状に悩む地域もあります。この交流事業の取り組みの成功の鍵は、田舎暮らしの体験にあわせた特産品や食のメニューを連動させて収

今、度島に必要なもの

モニターツアーの実施は、単なる交流事業の開催にとどまらず、新たな「島」の可能性と地域の課題を見出した。それは、この事業に携わった地元の関係者が、改めて「島」の価値を再認識した瞬間だったのかもしれない。

“島”の未来と 限りなき可能性



「私が生まれた生月島からも見える度島」

私が生まれた生月島からも見える度島。子どもの頃から気になっていたその度島を、この8月上旬旅番組の撮影のために初めて訪れ、飯盛港から見える雄大な海の景観や、人情味が溢れ明るい島民のみなさんの人間性に私もすっかり魅了されました。今回、世知原の子どもたちと一緒に撮影に参加して、船上でのカゴ漁や海岸での天草採り、魚介類の燻製作りなど普段なかなか体験することができない海との対面に皆目を輝かせて楽しんでいました。島育ちの私たちにとってはごく普通の光景でも、海に面していない世知原の子ども



たちにとってはこの島での一つひとつの出来事がとても新鮮に感じたのではないのでしょうか。

また、子どもたちは初めての民泊も体験しました。民泊を通じて島の人たちとのふれあいや家族のあり方、世知原と度島の習慣の違いなど短い間でしたが、みんなとても貴重な一夏の思い出になったと思います。

現在、平戸が抱えている過疎化の問題は深刻だと思います。度島でも感じましたが島民は小・中学生とお年寄りが大半で、20～30代の若年層を多く雇用できる産業がありません。難しい問題ではありますが、私も自分に何ができるかを考え、少しでも平戸の活性化のお手伝いができるよう今後も頑張っていきたいと思います。平戸は雄大な美しい自然と南蛮貿易の時代から続く独特な文化の両方が楽しめる魅力溢れる町です。その平戸の魅力を一人でも多くの方に知ってもらえたら私も嬉しく思います。



尾崎 勇氣さん

PROFILE

【尾崎 勇氣(おざき ゆうき)プロフィール】
生月町出身。元関脇 隆乃若。平成4年に鳴門部屋入門。平成13年夏場所では横綱武蔵丸を破って初金星を獲得。平成15年関脇に昇格。しかし、その後度重なる怪我のため平成19年秋場所にて引退。現役時代は、気迫溢れる荒々しい相撲と、端正な顔立ちで全国の相撲ファンを魅了。敢闘賞を3回受賞したほか、幕下と十両でも優勝するなどの立派な成績を残し、多くの相撲ファンに感動を与えた。平成20年4月に(株)草野仁事務所に所属し、現在、タレント、スポーツキャスターとして活躍中。

【取材協力】
度島地区漁業集落
【テレビ放送のご案内】
10月11日(土) 正午～(85分番組)
BS(衛星放送)フジ



一つでも気付きがあれば、ふるさとに対する愛着も深まります。自分が暮らすふるさとを見直すことが、次のステージへの第一歩。愛着があればこそ、ふるさとを想う熱い心も生まれてきます。「ふるさとを何とかしたい」という想いと、あくなき挑戦が、人の心を動かし豊かな未来を切り開くのです。今こそ、地域のみなさんと手を取り合って、地域の未来に目を向けましょう。将来を担う子どもたちに誇れるふるさとを築くために。

ふるさとの魅力を、
気付けてください。
ふるさとの価値を。
一つでも気付きがあれば、ふるさとに対する愛着も深まります。自分が暮らすふるさとを見直すことが、次のステージへの第一歩。愛着があればこそ、ふるさとを想う熱い心も生まれてきます。「ふるさとを何とかしたい」という想いと、あくなき挑戦が、人の心を動かし豊かな未来を切り開くのです。今こそ、地域のみなさんと手を取り合って、地域の未来に目を向けましょう。将来を担う子どもたちに誇れるふるさとを築くために。

特集「島の暮らし」 完



今こそ、
未来へ向けた
船出のとき・・・

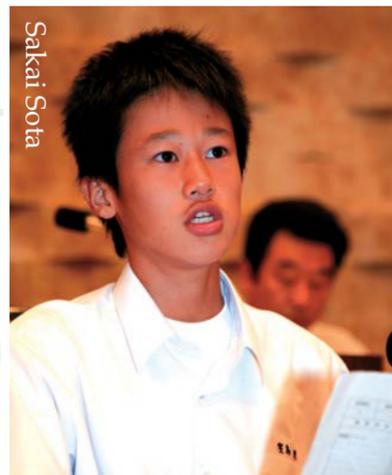
全国的に過疎化や高齢化問題を背景に、
共同生活の維持が危機的な状況の集落が増えている。
離島地域に限らず地方の農山漁村地域は、生き残りをかけて動き出した。
ふるさとの維持・再生へ向け、今こそ地域が一つになるとき。

ふるさとへの熱き想い
未来への挑戦



離島地域は、漁業なくして地域経済が存立することはむずかしい状況にあります。地理的条件から産業の高度化による地域の活性化は望めないからです。日本の有人離島312島のうち、比較的人口が維持されているのは、サービスマン中心の島(沖繩に代表される観光リゾート地)と漁業中心の島(兵庫県坊勢島、大分県姫島、愛知県日間賀島など)の2つに大きく分類されます。これらの地域に共通されるのは、いずれも主要なブランドとなるような地域資源が存在するか、核となる流通・販売ルートが確立されていることにあります。

しかしながら、忘れてならないのは、その成功の背景に「ふるさとを何とかしたい」という地域の結束力と地道な努力があったからにはなりません。恵まれた地域資源や地理的条件および流通・市場条件だけでは、成功はありえないのです。地域のみなさんが目の前の利害を超えて、手を取り合い、助け合い、ふるさとをどうしていきたいか共通認識を持って、日々、努力を続けていくことが重要です。少子高齢化や後継者不足、燃油高騰など、さまざまな社会問題がある中で、離島や地方の農山漁村地域(条件的不利地域)は、産業の高度化ではなく地域の自然的、文化的、社会的固有性を活かして、少しずつ地域での協働を進めていけば、地域再生につながり、ふるさと



Sakai Sota

堺 荘汰 議員
度島中学校3年

ボランティアについて

これからは、子どもも大人も地域に密着した生活が望まれ、ボランティア活動の活発化が大切です。平戸市で中学生が活発に参加できるボランティア活動について教えてください。



ボランティア活動は、自分の自発的な意思で行われるもので、平戸市でも市民のみなさんによる海岸清掃や空き缶回収などが行われています。中学生が取り組めるボランティア活動には、道路や海岸、公園、河川などの清掃活動、老人ホームなどの訪問や障害者・障害児との交流があります。

また、地域においては祭りやイベント、子ども会行事や野外活動のお手伝い、リサイクル活動の取り組みなどが考えられます。学校では募金活動への協力や古切手、ベルマーク、テレフォンカードなどの収集も福祉のために役立てることができますので、これからのみなさんの活動を期待しています。



Hario Noritomo

針尾 憲知 議員
南部中学校3年

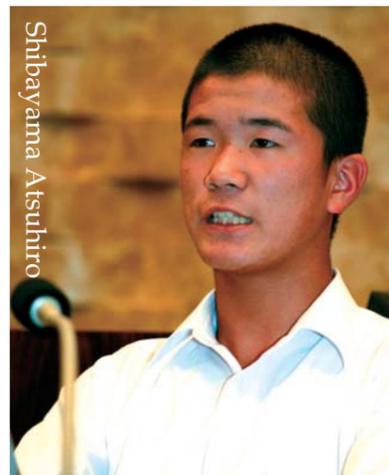
大型商業施設やショッピングモールの建設について

市内に大型商業施設やショッピングモールがあれば買い物客の流出を防ぎ、市外からお客を集められます。働く場所もでき町の活性化につながると思いますが建設の計画はありますか？



市内では、人口の減少、買い物客の市外流出により、商店街のにぎわいがなくなってきています。大型商業施設ができれば、買い物客が集まり、その周辺ではまちが活性化するように見えますが、その反面、小さな商店の廃業によりそこで働いている人が職を失うことにもつながる可能性があります。このようなことから、佐世保市や長崎市周辺でも、商店街などの反対もあり、大型商業施設の建設が進まない状況も見られます。

市としては、地元商店街の活性化を図るため、市民のみなさんが楽しく買い物できるような魅力ある商店街にすることを、優先すべきだと考えています。



Shibayama Atsuhiko

柴山 敦寛 議員
野子中学校3年

僕らの町に病院を

南部地区には、病院がないので診療所が開設できないでしょうか。また、市民病院で診察の待ち時間が長いと聞いています。現状と具体的対策を教えてください。



診療所を開設するには、医師や看護師などが不足していることや、多くの経費が必要となるため、現状では困難な状況にあります。

今後とも、平戸中・南部地区の診療は、平戸市民病院を中心として、バスの乗車券による助成やふれあいバスの利便性の向上、さらに、チャーター船やドクターヘリの活用により、搬送体制などの充実を図っていきたいと考えています。

また、平戸市民病院には1日に約280人の患者さんが診察にお見えになるため、「待ち時間」が長くなっています。このため「時間帯予約」などを導入して「待ち時間」の解消に努めています。

特集 Special Edition

私たちが描く、平戸のミライ。

～平戸市子ども議会開催～

8月22日、市議会議場で、市内中学生を対象にした「子ども議会」が開催されました。地方自治体の仕組みや市議会の役割を学んでもらおうと新・平戸市誕生後初めて開催されたもので、市内9中学校の中から代表として選出された27人が、「1日議員」となり、子ども議会に臨みました。初めて議場に足を踏み入れた子どもたちの表情は、その独特の雰囲気に対し緊張気味。一般質問が始まると、議長・副議長を除く25人の「子ども議員」は堂々と登壇し、大人顔負けの質問を市長に投げかけました。これに対し、白濱市長は市の現状や取り組みを分かりやすく説明をしながら答弁。子どもたちは、メモを取りながら熱心に耳を傾け、本議会さながらの議事進行となりました。ここでは、子ども議会の様子を一部ご紹介します。



田平中学校3年 深江由望さん

田平中
深江



Furkae Yumi

深江 由望 議員
 田平中学校 3年



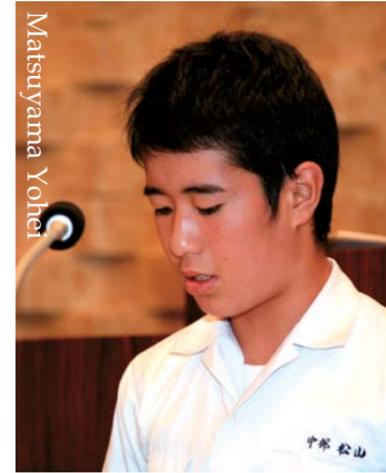
Shiraiishi Wataru

白石 航 議員
 大島中学校 3年



Morimoto Kohei

森本 紘平 議員
 中野中学校 3年



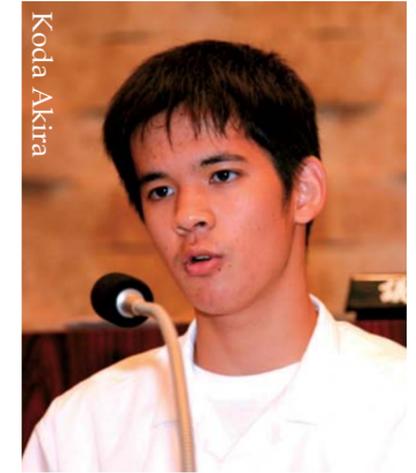
Matsuyama Yohei

松山 陽平 議員
 中部中学校 3年



Nishimura Masaki

西村 全機 議員
 平戸中学校 3年



Koda Akira

神田 晃 議員
 生月中学校 3年

環境美化について

町内のごみの量の多さを少し残念に思います。市民の意識を高めるためにどのような取り組みをしていますか？また、観光客は、平戸市の環境をどのように感じていますか？



平戸市ではごみの散乱、ペットのふんの放置などの防止について、「平戸市の環境を美しくする条例」というルールを定めています。この条例に基づき、市民のみなさんには、ごみのポイ捨て禁止や犬のふんの持ち帰りなどが義務化されています。また、市では花いっぱい運動(花壇の整備や道路沿いにおける花植栽)を推進しており、美化意識を高めるよう努めています。観光客のみなさんからは、平戸には感動を与えてくれる素晴らしい自然が残っているといた感想が多数寄せられており、今後とも自然・景観の保全に努め、美しい観光地づくりを進めていきたいと考えています。

大島の水産業について

漁船の燃油価格が高騰し、出漁できずに困っている漁師が増えています。魚の値段は上がらず、漁に出ても赤字続きです。市では、燃油代に対する補助の計画はあるのですか？



原油価格の高騰は、新興国の経済発展に伴う国際的な需要の増加予測や投機資金の流入などが原因とされています。また、漁業に限らず農業・運輸業界をはじめとするあらゆる産業はもちろん、食品などの値上がりによって家計にも影響が及んでいる状況です。燃油代への直接補填は困難ですが、何か対策が講じられないか、現在、検討を行っています。ただ、漁業者のみなさんも既存の補助制度を十分に活用するとともにさらなる省エネ・省コストに努め、水産業における構造的な課題となっている流通・販売事業の改革に努めていただきたいと思います。

学校と地域の環境整備について

中野中学校のグラウンドは、狭くて、滑りやすい状態です。また、通学路は、外灯やガードレール、カーブミラーがあまり設置されていないので、今後の整備計画について質問します。



各学校のグラウンドの広さは、生徒の規模に応じた基準面積以上は確保していますが、広い場所を必要とするクラブ活動には十分とはいえない状況です。市内には、小・中学校合わせて30校があり、現在、地震対策が最重要課題として改築や建替えの工事を計画的に進めています。こういうことから、現在使用のグラウンドを有効に使用していただきたいと思ひます。防犯灯については、地区の区長を通じて、市に申請していただければ対応をしていきます。カーブミラーについては、周辺の地形や道路形状、交通量など総合的に判断し、計画的に危険箇所から優先して設置する予定です。

ふれあいバスについて

ふれあいバスは、地域の生活に欠かせない交通機関ですが、運賃が高いので中学生まで子ども料金にしてほしいです。また、バス運行の本数を増やせないでしょうか？



ふれあいバスの運賃は、小学生以下と障害者および介護者は半額となっており、中学生は、全国的に見ても大人の運賃としているのが一般的です。多くの市民のみなさんから預かっている税金を使ってバスを運行していることから他の市と同じような料金設定をしています。また、遠距離通学者に対しては、補助制度もあります。バスの運行本数を増やすことについては、多くの方々が必ずそのバスを利用するというのであれば、増やすことは可能です。また、期末テストや学校の行事に合わせて臨時便を運行することもみなさんやバス事業者と協議して検討します。

平戸市の祭りの保存(まちの活性化)について

平戸の観光客は減少していますが、観光客を増やすためには、平戸にしかない伝統芸能や祭りなどをもっとアピールすることが大切です。今後、どんな取り組みを考えていますか？



伝統芸能や祭りは、先人がつくりあげた地域固有の文化として、大切に後世に引き継いでいかなければならないもので、現在、伝統芸能のデジタル映像化を進め、保存継承に努めています。また、貴重な観光資源としてもとらえており、「平戸城下歌仙灯籠まつり」のように、「平戸くんち」や「平戸神楽」などの地域行事や伝統芸能を取り入れた観光イベントを開催し、情報発信を図るとともに観光客の誘客に努めています。今後とも、観光資源として、伝統芸能の市外に向けた情報発信の場やイベントなどによる公開機会の確保について、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

教育面の予算について

中学生に関する教育面での予算はどのくらいになっていますか？体育館などの施設整備や学習用具の購入などさまざまな予算があると思いますが、その種類と金額を教えてください。



平戸市の一般会計の当初予算の総額は210億6,000万円、ほかに水道事業や病院事業などを入れると予算全体では361億8,000万円です。市民一人当たりの予算額は94万7,000円となります。使い道については、医療・福祉・産業・教育など多岐にわたります。教育費の予算額は、19億722万円で、この中には小学校費、中学校費、社会教育費や給食関係の保健体育費などがあります。中学校費の予算額は、1億8,817万円で、校舎・体育館管理費、6,875万円、その他主なものとして、就学対策費、スポーツ振興費(中体連補助など)、情報教育費、教材備品費、田平中学校校舎大規模改造費となっています。



明るい未来、輝くふるさと。
 平戸の未来は、僕らが創造する。



INTERVIEW

副議長
 安永 美砂 議員
 (南部中学校3年)

**平戸市民が協力して、
 すばらしい平戸にしていければ**



子ども議会に参加して、私は初めて本物の議会を体験しました。私は午後から議長を務めることになっていたのですが、午前中はずっとそわそわしながら発表を聞いていました。いよいよ午後になり、緊張しすぎて頭が真っ白にもなりましたが、だんだん慣れてきて、みんなの意見を余裕を持って聞けるようになり、2時間という短い時間でしたが、議事を進行するという貴重な体験をすることができました。今回、市内の中学校の代表が揃ったことで、さまざまな刺激も受けたので、これを機会にもっと交流できればいいなと思いました。また、公民の授業で自治体の仕組みを学んでいましたが、授業ではわからないことが身近に知れて大変勉強になり、市政に少し興味が湧きました。

今回、子ども議会に参加して、私たちの住むふるさと平戸が、大勢の人出でにぎわうまちになればいいと思いました。



INTERVIEW

議長
 石田 義明 議員
 (中部中学校3年)

**この子ども議会を、
 ぜひ今後とも続けてほしい。**



今回、子ども議会を通じて、事前に生徒会を中心にまちの実態調査などを行い、普段何気なく生活していて気付かなかったことにたくさん気付くことができました。また、他校の生徒の質問内容も、本当に自分たちの地域のことを考えているなど感心しました。市政の仕組みなども、学校で学んでいましたが、授業と現実ではぜんぜん違うなど感じ、大変勉強になりました。

当日は、市役所の大勢のみなさんと席がすべて埋め尽くされ、傍聴席にもたくさんの方が来ていて、今まで味わったことのない緊張感に襲われ、議長として議事を進行をしたことは正直よく覚えていません。だけど、今回子ども議会を体験したことで、平戸のまちについて意識するようになりました。今後、この子ども議会をぜひ続けてもらいたいです。本物の議会の緊張感など貴重な体験をさせていただいて、本当にありがとうございました。

子ども議会を終えて・・・ Interview

**自分たちが住む「まち」を良くしたいという
 中学生の熱意のこもった発言に感動しました**

将来の平戸市を担う市内各中学校の代表による「子ども議会」が市町村合併後初めて開催され、子どもたちの堂々とした姿と自分たちが住む「まち」を良くしたいという熱意がこもった発言で、大変頼もしく感じました。

提言内容も学校における身近な問題から、地球規模の環境にかかわる問題まで、幅広く多岐にわたるものでした。中学生の目線で、大人ではなかなか気づくことができないような点を問題提起され、平戸市全体の課題や将来について深く考えさせられる内容でした。

また、自分たちのことだけでなく、お年寄りや漁業関係者のみなさんの意見を代弁するなど、その思いやりのある姿にとっても感激させられました。今回の「子ども議会」を通して、我々大人たちも中学生に負けぬよう、新たな世代にしっかりとバトンを渡す責任と、夢溢れる平戸市を目指して奮闘していく決意を改めて強くしました。

中学生に市議会の運営や行政の仕組みを学んでもらうために企画されたものですが、逆に子どもたちに多くのことを教えられました。そして、まさに子どもたちは平戸市のすばらしい宝であるということ強く実感しました。



平戸市教育長
 吉居 辰美

平戸市子ども議会議員一覧

大島中学校	南部中学校	中部中学校
白石 航	針尾 憲知	議長 石田 義明
田島 叶恵	岩本みのり	副議長 安永 美砂
小濱 由起	生月中学校	田平中学校
度島中学校	神田 晃	深江 由望
堀 莊汰	松永 千幸	濱元 優莉
徳本 和馬	尾崎竜之輔	亀石 航
中瀬 寿里	中野中学校	野子中学校
平戸中学校	森本 紘平	柴山 敦寛
西村 全機	岡部未緒美	福井 将則
白壁 駿兵	福井 将則	齊藤 将樹
北古賀由紀	福井 将則	宮川慶一郎

受け継がれていく伝統と

灯笼の幻想的な光を楽しむ

平戸城下歌仙灯笼まつり

「平戸くんち」と「平戸神楽」や「田助ハイヤ節」などの伝統芸能に触れ、「おくんち料理」で平戸の懐かしい味を味わうことができる「平戸城下歌仙灯笼まつり」が、今年も開催されます。

まつり期間中は、平戸地区商店街がまん暮やしめ縄で飾り付けられ、おくんち一色になります。

24日(金)・25日(土)の夜には、俳句や童謡の歌詞などが書かれた歌仙灯笼が並べられ、夜の街を彩ります。秋の夜のひと時を、家族や仲の良い仲間と過ごしてみませんか。



歌仙灯笼・オブジェ設置

10月24日(金)・25日(土)
午後6時30分～午後9時
／商店街通り
(魚の棚町～崎方町)

■見どころ
城下町の風情がある平戸が、歌仙灯笼の淡い光に包まれます。誰かと一緒に歩きたくなる…そんな風景です。



平戸神楽(夜神楽)・茶会

10月17日(金)・18日(土)・24日(金)
／松浦史料博物館
○茶会 午後7時～午後8時
※24日のみ御部屋の坂庭園で行われます。
○夜神楽 午後8時30分～午後9時30分

■見どころ
灯笼の光の中、幻想的に舞う夜神楽は、一見の価値あり。中でも太刀を口にくわえ、小刀を両脇に抱えながら乱れ舞う「二剣」は圧巻。



伝統芸能フェスタ

10月25日(土)午後3時～
1部：ちびっこ伝統芸能披露
／平戸港交流広場特設ステージ
2部：田助ハイヤ節市民総踊り
／商店街通り(魚の棚町～崎方町)
平戸港交流広場

■見どころ
市内の保育園児による太鼓の披露をはじめ、ちびっ子による伝統芸能披露と一般のみなさんも参加できる市民総踊りで「おくんち気分」を満喫しよう！



町屋くんち料理

10月24日(金)・25日(土)
午前11時～午後9時
※午後4時～午後5時は準備時間
／崎方町【御下紋】、宮の町【やなぎや食堂】、木引田町【按針の館】、新町【森酒造場】、職人町【井上材木店前】の各拠点会場

■料金
平戸くんち手形(3枚綴り)
一般1,000円、小人500円
(小学生以上中学生以下)
■食べどころ
各拠点会場で懐かしさを感じる昔ながらの町屋くんち料理や甘酒・地酒をご賞味ください。



大鍋振る舞い

10月17日(金)・18日(土)午後6時30分～
／松浦史料博物館階段下通り
■食べどころ
絶品のあら鍋(17日)・うちわエビ鍋(18日)を無料で振る舞います。先着100人までとなっていますので、お早めにお越しください。

伝統芸能披露 (築地町のジャ踊り・宮の町の獅子舞)

10月24日(金)
○築地町のジャ踊り 木引田町 午後7時～
○宮の町の獅子舞 宮の町 午後7時30分～
■見どころ
めったに見ることができないジャ踊り、獅子舞。迫力のある舞いあなたも圧倒されるはず。

市民のみなさんも祭りに参加してみませんか！

「田助ハイヤ節市民総踊り」参加チーム募集！

今年も祭り期間中、田助ハイヤ節市民総踊りを開催します。市民総踊りは、10月25日(土)午後6時30分から商店街通り(魚の棚町～崎方町)および平戸港交流広場で開催します。参加したいチームは、次のとおり観光商工課にご連絡ください。職場、地域グループなど、たくさんのご参加をお待ちしています。

- 申込方法 電話で観光商工課観光班までご連絡ください。
- 申込締切日 10月10日(金)
※お皿は、各チームでご用意願います。
※四ツ竹は、観光商工課で貸し出します。

「フリーマーケット」参加者募集！

10月17日(金)・18日(土)の両日、午後6時からメイン会場となる松浦史料博物館の周辺をにぎやかに演出するため、松浦史料博物館階段下通りでフリーマーケットの出店を計画しています。詳しい内容については、観光商工課観光班までお問い合わせください。

- 申込方法 電話で観光商工課観光班までご連絡ください。
- 申込締切日 10月7日(火)

お問い合わせ
観光商工課観光班(☎内線2272)

平戸くんち

- 御神幸・行列
10月25日(土)午前10時出発 旧町地区・市街地一带
- 大大神楽
10月26日(日)午前11時～ 亀岡神社
- 献茶式
10月27日(月)午後1時～午後2時 亀岡神社

■見どころ
みこしや武者行列が街中を歩く御神幸。大大神楽は、「平戸神楽全24番」が披露されます。
また、ジャ踊り、獅子舞なども披露されます。



空手道



全日本少年少女空手道選手権大会

小学2年男子個人組手の部

初戦敗退

- ①小学校1年生
- ②空手を習って強くなりたいと思って
- ③練習はきついけれど、練習をすることが大事
- ④力を一杯出して、個人戦で優勝したい

吉元 勇志 選手
(田平町山内免、田平北小2年)

相撲



全国都道府県中学生相撲選手権大会

2回戦敗退

- ①保育園(4歳)
- ②宝亀に相撲クラブができたときに遊び感覚で始めた
- ③試合も、練習も「がまん」が必要
- ④また全国大会に行きたい

平田 太郎 選手
(宝亀町・中部中2年)

中学生で女子サッカー県代表として選抜出場

7月19日に宮崎県で開催された国民体育大会の九州ブロック予選に女子サッカーの県代表として中部中3年、濱田選手(飯良町)が出場しましたが、試合は1回戦で佐賀県に敗れました。しかし、県代表に選抜された中学生は2人。一般女子や高校生と一緒にプレイしました。濱田さんは、小学3年生からサッカーを始めましたが、女子チームがなく、男子に混じって試合に出ていたためか、当たり前でない体力が自然と身についたとか。「将来は、全日本のなでしこJAPANのユニフォームを着れるようにがんばりたい」と今後の抱負を話してくれました。



平戸小学校金管バンドが14年ぶり九州大会出場



8月19日、福岡県小倉市で、「第53回九州吹奏楽コンクール」が行われ、平戸小学校金管バンド(岩田実穂部長・16人)が14年ぶりの出場を果たしました。7月20日に諫早文化会館で開催された第53回長崎県吹奏楽コンクールに出場し、見事金賞を受賞。14年ぶりとなる九州大会出場の切符を手に入れました。

九州大会では、惜しくも銅賞という結果に終わりましたが、部員のみなさんは、「悔しかったけど、九州大会の舞台上で演奏できて良かった。今度は、アンサンブルコンテストがあるので、金賞目指して頑張りたいです」と、今後の抱負を話してくれました。

北松農業高校が農業高校のインターハイへ



10月21日～23日までの3日間、佐賀県で行われる日本学校農業クラブ全国大会に出場する本市出身の北松農業高校生のみなさんに全国大会へ向けての意気込みを聞きました。(写真左から)【平板測量競技】内山翔三さん(生月町里免)「全国大会で最優秀を取りたい」、【農業鑑定競技】川下志織さん(度島町)「1年間、先生に指導してもらったので、先生の期待に答えるよう頑張りたい」、川久保恭平さん(大島村大根坂)「生活科学科は、全国的に男子が少ない科なので、男子代表として頑張りたい」、赤木奈美さん(度島町)「1点でも多く取るように頑張りたい」。

林 千夏 選手
(岩の上町・平戸中3年)



全国高等学校総合体育大会柔道競技

52kg級 初戦敗退

- ①小学校6年生
- ②テレビで柔道を見て、「すごいな」と思っていたときに、おじさんから勧められて
- ③勝とうと思う気持ち
- ④高校に進学し、インターハイに出場できるようにがんばりたい

西島 幸祐 選手
(田平町山内免・西海学園3年)



全国高等学校総合体育大会柔道競技

81kg級 第3位

- ①小学校2年生
- ②兄、姉がやっている、「かっこいい」と思って
- ③負けず嫌いでもあり、「負けたくない」という気持ち
- ④自衛隊に就職するつもりなので、出場する大会は少なくなるが柔道を続けていきたい

全国中学校総合体育大会、全国高等学校総合体育大会ほか各種全国大会へ平戸の若きアスリートたちが全国制覇を目指し挑戦してまいります。ここでは、その選手たちを紹介します。

全国大会に出場した平戸の若きアスリート

石田 龍馬 選手
(宝亀町、宝亀小5年)



わんぱく相撲全国大会

小学5年生の部 初戦敗退

- ①保育園(5歳)
- ②お父さんがしていたから
- ③ケガをしないために体を柔らかくすること
- ④また全国大会に行きたい

松園 大成 選手
(紐差町、紐差小4年)



わんぱく相撲全国大会

小学4年生の部 ベスト16

- ①小学校1年生
- ②小学校の相撲大会への出場
- ③勝っている試合でも最後まで油断をしないこと
- ④全国大会で優勝を目指したい

Question

- 選手たちへ質問 -

- ①いつから競技を始めましたか?
- ②始めたきっかけは?
- ③競技するとき、心がけていることは?
- ④今後の目標は?

清峰高校の一員として甲子園へ

本市出身の値賀脩斗選手、宮崎剛選手が今年の夏に開催された全国高校野球選手権大会に清峰高校野球部の一員として出場しました。甲子園では、惜しくも2回戦で東邦(西愛知)に敗れました。

写真は、県大会で優勝し甲子園出場前に、白濱市長を表敬訪問したときのものです。(写真左から)

値賀 脩斗(鏡川町、平戸小・小佐々中出身)
宮崎 剛(小田町、志々伎小・南部中出身)
池田 康二(田平町下寺免、田平南小、田平中出身)



PHOTO
まちな
できごと
NEWS

気迫溢れる試合の連続！防犯少年武道大会！

8月31日、平戸小学校と平戸中学校の2会場で「市防犯少年武道大会」が開催され、市内の5歳児から高校生まで28団体429人が参加しました。会場では剣道、柔道、空手道の3競技が行われ、気迫溢れる試合が展開されました。大会結果は次のとおり(団体優勝のみ掲載)。
【剣道】小学生・紐差剣心会A、中学生・野子中学校
【柔道】小学生・平戸少年柔道クラブA、中学生・田平少年柔道クラブ【空手道】小学生男子・武當館山田、小学生女子・武當館生月A、中学生男子・武當館生月B、中学生女子・武當館山田A



石田輝男さん、瑞宝双光章受章！

大島村西字戸の元県大島村消防団団長、石田輝男さん(88)が、瑞宝双光章を受章され、9月2日、平戸市役所で伝達式が行われました。石田さんは、昭和22年1月に大島村警防団(現在の消防団)に入団以来、昭和62年まで40年の長きにわたり、団長、副団長を歴任され、地域住民の生命・財産の保護に尽力されました。「大島村には、消防署がなく消防団だけでいろいろな活動を行いました。戦後間もないころは、危険が伴う外国からの密輸船の取締りも行っていました」と当時の活動を話してくれました。



父に会いたい！探しています

9月6日、平戸港交流広場カフェ・カロヨンで、「平和について考える会」(国際交流HIRAの会主催・丹澤明会長)が開催され、市民のみなさん約30人が参加しました。会には、第二次世界大戦中、インドネシアで、日本人とインドネシア人の間に生まれた日系2世のオランダ人5人が招かれ、戦争がもたらした自身の経験をもとに参加者に語りかけました。ジョニー・デアリアさんは、「父の名前は、イノウエ・ジュリアス。いつか会えると思っている」と、今後も日本で父親探しをしたいと話していました。



市民体育祭が開幕 熱戦各地で

9月7日、市営赤坂野球場で、第3回市民体育祭の開会式が行われ、各競技の代表約280人が参加しました。開会式では、大山貴之選手による選手宣誓のほか、体育功労者表彰も行われ、長年にわたり体育の普及や振興、競技力向上に尽力した4人のみなさんに、桑山正則市体育協会会長から賞状などが手渡されました。
【体育功労者表彰(敬称略・写真右から)】
市陸上競技協会 永田 米吉、市空手道協会 新屋 清、中部体育振興会 北川信千穂、南部体育振興会 柴山裕美子



**いつまでも元気に
長寿のお祝い！**

9月15日の敬老の日に合わせて、市内各地で敬老会が行われました。同日、養護老人ホーム「光の園」で開催された敬老会では、9月に100歳を迎えた伏見屋イチさんと岡村ユキさんのお祝いも同時に行われ、白濱市長が訪れ花束と記念品を贈りました。伏見屋さんは、おしゃべりが大好きで、食事と入浴のとき以外は、ほとんどデイルームで入所者のみなさんと話をして過ごしています。岡村さんは、温和な性格で、おまんじゅうやおはぎなど甘いものが大好きです。二人は、来賓や職員、入所者から「いつまでも元気で過ごしてね」と祝福されました。



平和を訴えたい。高校生平和大使！

県立佐世保西高校3年、江里口泰子さん(田平町、写真：右から2番目)を含む高校生平和大使(6人)が、8月16日～23日にかけてスイス・ジュネーブの国連欧州本部を訪れ、学校や街頭での「高校生1万人署名活動」で集めた署名を国連軍縮局事務次長コーリー大使へ手渡しました。高校生平和大使は、核兵器の廃絶と世界平和の実現を訴えるため、平成10年に発足し今年で11代目。江里口さんは、「平和への想いは伝わったと思う」と訪問した感想を話してくれました。



昔話を楽しむ九州沖縄交流会

8月23日・24日の両日、平戸文化センターを主会場に、「第22回昔話を楽しむ九州沖縄交流会」が開催され、全国から読み聞かせなどの語り手、約600人が集りました。初日は、絵本作家の松谷みよ子さんが、民話研究・執筆活動の中でのエピソードなどを交えながら、本との関わりの重要性を力説。2日目は、子ども向けのお話し会があり、多くの子どもたちが本と触れ合いました。地元からの参加者は、「研修と交流の輪が広がり、読み聞かせの素晴らしさに触れ、励みになった」と喜んでいました。





よこやま よしたか
横山 義隆さん(21歳・宝亀町)
「利用者みなさんに喜んで
もらえるように、笑顔でがんばります」

■勤務先
介護老人保健施設「ひらどせと」
■ニックネーム
よしたか
■性格は？
明るくて、積極的
■趣味・特技
球技(バレー・ソフトボールなど)

横山さんは、福岡の専門学校で作業療法士に必要な知識・技術を学び、作業療法士の資格を取得しました。今年の4月に青洲会病院に就職後、5月に介護老人保健施設「ひらどせと」に配属。1日に7～8人の入所者に対して、歩行訓練、食事動作訓練など、日常生活に欠かせない動作のリハビリテーションを行っています。「最近は顔を覚えてもらい、名前で呼んでもらえるようになり、うれしい」と笑顔で話してくれました。



☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆
★お誕生日おめでとう！★10月生まれ



素直で優しい
女の子に育ってネ！
まつぐち らむ
松口 徠夢ちゃん
(H19.10.1生)
～莊一さん・亜矢さんの長女～
《下中津良町》



頼もしい
お兄ちゃんになったネ！
かたやま つよし
片山 剛くん
(H18.10.20生)
～直樹さん・裕美さんの長男～
《紐差町》



わんぱくなのモイイけど、
もっとお利口さんになってネ！
もとやま みやび
本山 雅くん
(H17.10.26生)
～貢さん・梓さんの長男～
《坊方町》

募集しています
大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「平戸のわっかもん」平戸のまちで働く「わっかもん」を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。
○応募方法 写真にお子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3 総務課秘書広報班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People **CLOSE UP!**
まちのひとびと
Club Introduction
クラブ紹介

「大島クーガーズクラブ」



■活動DATA■
活動日/毎週水・金曜日 午後7時～午後9時
活動会場/大島中学校グラウンド
対象者/18歳以上ならどなたでもOK!(高校生を除く)
連絡先/代表宅 ☎55-2716
部員数/17人
参加費/月額 1,000円
代表/福井 稔さん(大島村大根坂)

「メンバーを募集します。一緒にいい汗流して
うまい酒を飲みませんか？」

「大島クーガーズクラブ」は、昭和48年に成年男子F P (ファーストピッチ)のソフトボールクラブとして結成され、今年で36年目を迎えました。全盛期には、北松浦郡の大会で優勝するなど、輝かしい歴史のあるチームです。しかし近年は、転勤などにより部員が少なくなり、練習にもなかなか人が集まらない状態で、公式戦の出場も年々減ってきています。

今後の目標は、部員を増やし、1つでも多くの大会に参加して、ソフトボールを楽しみたいと思っています。チームカラーは、いいやつばかりの「よく食べ」「よく飲み」「よく笑う」とても明るいチームです。ソフトボールに興味のある人は、一緒にいい汗流してうまい酒を飲みませんか？試合のみの参加でもかまいません。連絡お待ちしております。



「田平バックス」



■活動DATA■
活動日/不定期(週1回) 午後8時～午後10時
活動会場/田平北小学校グラウンド
対象者/田平地区出身者および在住者
連絡先/代表携帯 ☎090-7987-5449
部員数/21人
参加費/月額 500円
代表/吉川 直樹さん(田平町山内尻)

「めざせ県大会優勝！部員募集中！」

「田平バックス」は、以前からあった「田平体協サッカー部」と平成6年に結成した「バックス」とが合併してできた3年目のサッカークラブで、部員21人は田平地区出身者で平均年齢23歳と若いチームです。9月7日に行われた市民体育祭で、見事優勝。11月8～9日に佐世保市で行われる県民体育祭での優勝を目標に、目下練習に励んでおり、みんなで声を掛け合い、チームプレーで楽しく、かつ、常勝チームを目指しています。一番印象に残っている出来事は、去年の市民体育祭決勝戦で対生月DFC戦の同点で迎えたPK戦で、なんと15人目で勝って県大会に初出場したことです。部員を募集していますので、気軽に練習に遊びに来てください。



市民の声

Citizen's Voices

このコーナーは、広報ひらどの読者のみなさんからの声を伝えるページです。広報ひらどへの感想、平戸市への思い、身近な出来事など、たくさんの声をお寄せください。

今回の応募総数は、7通でした。



▲香川県高松市で行われた全国広報コンクール表彰式の様子(8月28日)

知人に「平戸はよかところね」と良く聞きます。最近では私は「そうきやあ、なんもなかよ」と言っていた自分が恥ずかしく思いました。山や海があり、自然に囲まれているおかげで、私は音楽・図工以外の成績はすべて悪かったですが、視力は良いのです。小学生の時は、目が疲れたら遠くの山を見るように教わりました。私にとっては自慢です。みなさんにとっての自慢は何ですか？

平戸の観光客が減ってきていると聞きました。なぜでしょうか？例えば、「鬼洋蝶」羅生門の鬼退治は、平戸藩主五代渡辺綱が鬼の首を切り、その首が飛んで、頭にかぶった様子から描かれています。「平戸にそがんすごか人のおったとばいね」と驚きました。あの有名な吉永小百合さん、大竹しのぶさんも来たそうです。知らないことが沢山。まずは自ら平戸を観光したいと思いました。「やらんば！平戸 見らんば！広報」(まちゅまちゅ 30歳女性)

「こんにちは」と玄関に宅配の人……。何かしらと思ったら広報ひらど8月号のプレゼント(マルイ水産商事のおさかなセット)でした。箱を開けてみるとたくさんのお土産物が入っていました。市民の声&読者プレゼントコーナーにハガキを出すのが本当に当たると、手を叩いて大喜びしました。おかげさまで、今日はどれを食べようかと食事の楽しみが増え、おいしくいただきました。ありがとうございます。(M・K 女性)

プレゼントありがとうございます。本当にももらえるんですね。子どもが当選して送ってきたのを見て親の方が喜んでしまいました。麺大好き家族なので、冷やしてよし、温めてよしの生月手延べうどん(マルイ水産商事・広報ひらど8月号読者プレゼント)に大満足です。まわりのみなさんに読者プレゼントコーナーのPRをして、一人でも多くの人にこの喜びを味わってもらいたいと思います。(リロの母より 女性)

今年も「平戸南風夜風人まつり」の陣見に行きました。毎年小さくなるステージに寂しさを感じますが、皆さんのチームのみなさんが全国から集まり盛り上がったと思います。ただ、周りから聞こえてきたのが「北部だけのお祭りみたいね」「踊ってる人たちだけが集まっているの?」といった言葉でした。踊る人たちが楽しむのだけではなく、地元のみなさんも一緒に盛り上げられるようにできないのでしょうか?来年の平戸南風夜風人まつりを楽しみにしています。(イベントファンより 女性)

PRESENTS

読者プレゼントコーナー

平戸「葛屋」-TSUTAYA-
「お菓子商品券(1,500円分)」を
10名様にプレゼント!

「つたや總本家」が屋号を旧来の「葛屋」に戻し木引田町「按針の館」に甘味喫茶と和洋菓子を扱う新店舗をオープンしました。その新店舗でご利用できます「1,500円分商品券」を10名様にプレゼントします。昔ながらの製法にこだわったカドースや牛蒡餅などの平戸の伝統菓子やけいらん・黒子饅頭・酒饅頭ほか、ロールケーキ・プリン・シュークリームなど洋菓子の新品をはじめ、どら焼の新作などを販売しています。商品券は白玉ぜんざいなどで好評いただいています甘味喫茶でもご利用できます。

◎商品についてのお問い合わせ

平戸「葛屋」

〒859-5113 平戸市木引田町431(按針の館内)

TEL 0950-23-8000/FAX 0950-23-8700

URL <http://www.hirado-tsutaya.jp>

※プレゼントは、事業所から提供をいただいています。



新しいカタチ はじめました。

文亀二年から伝統の思い。

市民のみなさんからの
おたよりお待ちしております

郵便、FAX、E-Mailで、氏名(ふりがな)、年齢、性別、住所、ペンネームまたはイニシャルを記入の上、広報ひらどを読んだ感想や今後取り上げてほしい話題や記事、平戸市への思い、あなたの身近な出来事などを書いてご応募ください。お便りをくださった人の中から抽選で10名様に上記商品をお贈りします。応募締切は10月20日(月)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

◎あて先

〒859-5192 平戸市岩の上町1508番地3

総務課秘書広報班

「市民の声&読者プレゼントコーナー」係

▼F A X 22-2419

▼E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

※個人情報の取り扱いについては、「平戸市個人情報保護条例」に基づき適正に行います。なお、プレゼント発送のために個人情報を商品取り扱い事業者へ提供しますのであらかじめご了承ください。

「広報ひらど」が
全国広報コンクールで
入選(広報紙市部6席)

日本広報協会が主催する平成20年広報コンクールで、「広報ひらど」が広報紙市部において、入選(6席)に選ばれました。同コンクールは、平成19年中に発行された全国自治体の広報媒体を対象に実施されたもので、「広報ひらど」は長崎県広報コンクールで最優秀賞を受賞し、県代表として全国審査を受けました。今回、入選に選ばれた平成19年8月号は、A4判32ページの作品で、このうち12ページに「距離」勇気を「出して」と題し、健常者と障害者を持つ人との心の「距離」をテーマに特集を組んでいます。

市では、今後とも「市民のみなさんの役に立つ広報紙」「市民のみなさんとともに今後のまちづくりを考える広報紙」を追求しながら編集していきたく考えていますので、今後とも、広報ひらどへのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

▼丁寧に、きちんと編集された広報紙で、担当者の真摯な姿勢がそのまま表現されているようだ。心の壁と社会の壁、そこに存在する距離が問題であり、このことを切り口に、丁寧に深く情報が紹介されていた。よくある、難しい分野のテーマなのだが、正面からとらえながらも重々しくなりすぎず、新鮮な印象を起こしている点が優れている。

【審査員】

田中 里沙

(株)宣伝会議取締役副社長兼編集室長

▼暮らしのカレンダーはアイデアであるとともに実際に使えるのかどうか。特集の第3章「自立」、第4章「共生」に説得力がある。表紙とともに実際の姿を追い、生の声を集める編集の態度に由来するか。国際交流記事や図書館新刊紹介、「まちのひとびと・まちのできごと」などの、上下の段やページ、見開き単位に素朴に校正する編集に、かえって一貫性や編集の判断が見える。

【審査員】

山田 貞雄(国立国語研究所主任研究員)

全国広報コンクール
審査評広報紙
市部

▼1冊全体を通して、レイアウト、写真の使い方、見せ方などを含め、紙面づくりへのこだわりを感じた。障害者特集は、「どうしたら、一緒に歩けるんだろう」という導入ページから、最終ページまで話体の見出しで統一され、障害を持つ人たちと健常者との心の「距離」を縮めたいという意図に沿った構成になっている。

【審査員】吉村 潔(エディター)

国際交流員

レムコー・フロライクの

HIRADO -change

平戸と世界をつなぐコーナー



「平戸の人はオランダに行く」と...

私が初めて日本に来た時、「販売機がとても多い、髪を染めている人がたくさんいる、バスと電車は時間通りに来る、電線はぐちゃぐちゃ」など、いろいろなことにびっくりしました。8月に青少年日蘭交流事業が行われ、平戸市の中学生がオランダを訪問しました。ほとんどの中学生は初めて外国に行ったので、驚いたことがたくさんあったようです。私はオランダで育ったため、あまり気付きませんでした。平戸の人がオランダでびっくりしたことや印象に残ったことを聞いてみました。

「天気がよく変わる」「夜は寒すぎる」「車より自転車を使う人が多い」「自転車専用道がある」「馬が多い」「環状交差点とスピードバンプ(スピードを出さないように作られた道の凸凹)が多い」「道と川の高さがあまり変わらない」「町並みがきれいで暖かい霧田気がある」「夜遅くまで明るい」「オランダの食べ物には地味」「自由さを感じる」「オランダ人はきち

んとしている」「知らない人が話しかけてくる」「手を振ったら返してくれる」「オランダ人は優しい」などの印象を話してくれました。

また、去年平戸を訪れたオランダの中学生の親に話を聞くと、中学生たちは今でもよく日本で経験したことやびっくりしたことを話しているそうです。今年オランダに行った平戸の中学生たちも頑張って英語を話したり、オランダ語を勉強したりしていましたが、やはり話すのは難しかったようです。しかし、先に書いたような文化や習慣の違いがたくさんあり、言葉が通じないのに、「オランダ人が日本に来たら、優しさを返したい」という意見を聞いて、「どんなに違いがあっても人間の心は通じる」ということを改めて感じました。



HIRADO X-CHANGE

「あなたも年金を増やしませんか？」

■保険福祉課国保年金班(☎内線2590) ■佐世保社会保険事務所(☎0956-34-1141)



国民年金には、老後に受け取る年金額を増やしたい人のために、付加年金制度があります。付加年金制度とは、定額保険料(平成20年度は月額14,410円)に付加保険料(月額400円)を追加して納付することで、老齢基礎年金に付加年金(200円×付加保険料納付済期間の月数)を上乗せして受け取ることができる終身年金のことです。

※保険料の免除または納付猶予を受けている人、国民年金基金に加入している人は加入できません。

【計算例】付加保険料を5年間納付し、65歳から老齢基礎年金を10年間受給した場合

▼付加保険料(納付総額) 24,000円【=400円×60月】

▼付加年金額(受給総額) 120,000円【=年額12,000円(200円×60月)×10年】

※65歳から受給した場合、2年間で付加保険料相当分の付加年金を受け取ることができる計算になります。

付加年金は任意加入です。届け出により加入したり、やめたりすることができます。届け出の際は、印かん・年金手帳を持参の上、保険福祉課国保年金班または各支所市民協働課・各出張所の窓口へお越しください。

新着図書紹介

としょかん みんなの図書館

このほかたくさん
の新着図書があります!!

平戸図書館 ☎22-4017

[10月の休館日]
毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
曝書および蔵書点検のため(14日・火~23日・木)

『源氏物語を楽しむ本』

監修/渋谷 栄一
編/主婦と生活社

2008年は、源氏物語が記録のうえで確認されたときからちょうど千年を迎えます。この本は、あらずしから、時代背景、人物相関図など源氏物語の楽しみ方をまるごと一冊で紹介する本です。

- きのうの世界/恩田 陸
- ひかりの剣/海堂 尊
- テンペスト(上・下)/池上 永一
- サポートさん/日向 達
- 甘い記憶/井上 荒野ほか
- いかに満月/山本 一力
- 奇跡のリンゴ/石川 拓治
- 大いなる遺産 長崎の教会/三沢 博昭
- ハローワーク150%トコト活用術/日向 咲嗣
- 全国五つ星の手みやげ/岸 朝子
- しあわせ米粉クッキング/村上 祥子
- 少年野球「コーチ術」のすべて/本間 正夫
- 水墨画 花の基礎描法(上・下)/塩澤 玉聖
- 図解 日本音楽史/田中 健次
- 超保存版 祭りの達人/辰巳出版

『おくのほそ道』

文/松尾 芭蕉
編/齋藤 孝
絵/中谷 靖彦
出版社/ほるぷ出版

「夏草や兵どもが夢の跡」など、代表作「おくのほそ道」から俳句を選び、芭蕉の旅をたどりながら俳句を楽しむ絵本です。声に出して読むと日本各地の情景も楽しめる一冊です。

- へんしんマジック/あきやまただし
- ねぎぼうずのあさたろう その7
- さんぞくまつぼっくりのもんえものなみだ/飯野和好
- はつきよい畑場所/かがくいひろし
- まちのおふるやさん/とよたかずひこ
- ほくたちともだち/ひろかわさえこ
- 崖の上のポニョ/宮崎 駿
- これがほんとの大きさ!続/スティーブ・ジェンキンス
- チョコときんいろのつばさ/レオ・レオーニ
- 12年目のあ・か・あ・さ・ん/綾野まさる
- 子どもになりたいパパとおとなになりたいほく/灰谷健次郎
- しゅっぱつしんこう/渡辺 茂男
- デモナータ 7幕 死の影/ダレンジャン
- パワー 西のはての年代記3/ル=グウィン
- 和食朝ごはんをつくってみよう/鈴木 雅子
- 書本/武田 双雲

●10月の主なもよおし●

- おはなし会 毎週土曜日 午後2時~
- 赤ちゃんおはなし会 7日(火)午前10時30分~
北部公民館2階和室大
- 源氏物語特集(10月12日まで特設コーナーを設置しています。)

※市立図書館の本は、各公民館をとおして貸出や返却ができます。詳しくは、図書館・各公民館の図書室へお尋ねください。

永田記念図書館 ☎28-0128

[10月の休館日]
毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)

『あたり 魚信』

著者/山本 甲士
出版社/文藝春秋

思いがけず釣りをすることになった主人公たち...釣りに夢中になっていくうちに、小さな奇跡が起き始めます。釣りを通して、人とのふれあいの大切さを描く「心が少しホッとする」物語です。

- スポーツ選手の完全食事メニュー/川端 理香
- 一年中役立つ通園おべんとう/岡岡 郁子
- 遺族年金、障害年金、離婚時の年金Q&A/田中 章二
- 0才からはじめる母と子の1分体操/田中 光
- 仕事の疲れ予防法!/檜垣 暁子
- ほけになりやすい人なりにくい人/大友 英一
- 平成お散歩日記/宮部みゆき
- シネマ坊主3/松本 人志
- これが私の十月十日 妊婦道/渡辺満里奈
- チィとタケ/カナヘイ
- 歩いてても歩いてても/是枝 裕和
- 還るべき場所/笹本 稜平
- 十津川警部 捜査行 義と影の谷川特急/西村京太郎
- 許されざる者/広山 義慶
- 嘘つきは姫君のはじまり/松田志乃ぶ

『ねんねんよー 子どもにうたってあげるこもりうた』(CDつき)

絵/ましませつこ
出版社/童話館出版

子どもとのふれあいに「子守唄」はいかがですか?シューベルトやモーツァルトの子守唄をはじめ、日本各地に伝わる子守唄が14曲収録されています。大人も子どもも、心休まる「子守唄」をぜひどうぞ。

- 星空へようこそ/横山 充男
- となえもんくん/もとしたいづみ
- ドラゴン・スレイヤー・アカデミー 1/
ケイト・マクミラン
- 家族になったスズメのチュン/竹田津 実
- エイズの村に生まれて/後藤 健二
- 一期一会 スキだから・伝えたいコト・信じるキモチ/栗生こずえ
- なぞなぞ王子のびっくりワールド1500発!/このみひかる
- いのちってスゴイ!赤ちゃんの誕生/大葉ナナコ
- レタスの絵本/つかだともひさ
- カミさま全員集合!/山本 孝
- 3びきのくま/いもとうよこ
- みかん/やまわきゆりこ
- 入場料はどんぐり5つ/村山寿美枝
- 木の実のけんか/片山 健
- 狂言えほん かきやまぶし/大島 妙子

●10月の主なもよおし●

- おはなし会(絵本・大型絵本・紙芝居など)4日・18日・25日
- 映画会 11日(土)
- ・のぼらの村のものがたり 木の実のなるころ(25分)
- ・どんぐりと山猫(20分)

■平戸市保健センター(サン・ケア平戸) ■生月支所市民協働福祉保健班 ☎28-1000
 ■田平町福祉保健センター ☎53-2111
 ■大島支所市民協働課福祉保健班 ☎57-0977 ☎55-2511

特定保健指導について 「メタボリックシンドローム」

糖尿病などの生活習慣病は、それぞれの病気が別々に進行するのではなく、内臓に脂肪が蓄積した内臓脂肪型肥満が大きくなると、内臓脂肪型肥満に加えて、①血清脂質異常②高血圧③高血糖のうちいずれか2つ以上をあわせもつた状態を、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)といいます。

内臓脂肪が蓄積すると、糖尿病や高血圧症、高脂血症といった生活習慣病を併発しやすくなります。しかも、血糖値や血圧が高めといった、まだ病気とは診断されない予備群でも、併発することで、動脈硬化が急速に進行します。このような内臓脂肪から始まる生活習慣病予防を目的に、今年4月から「特定保健指導」が始まっています。

今年度、平戸市国民健康保険では、ある一定条件を満たす人に対して二次検査(頸部エコー検査、糖負荷検査など)と、その後の個別指導を行います。そのほか、集団健康教育室も実施します。対象となる人には随時通知します。

【メタボリックシンドローム該当】
 内臓脂肪の蓄積(腹囲の目安:男性85・女性90センチ以上)①②③の内2項目以上該当

【メタボリックシンドローム予備軍】
 内臓脂肪の蓄積(腹囲の目安:男性85・女性90センチ以上)①②③の内1項目該当

インフルエンザ予防接種のお知らせ

○対象者 平戸市に住所を有する65歳以上の人(一部60歳以上)、1歳から未就学児(年長児)

○接種費用 1000円(1回限り、自己負担)

※生活保護世帯の人は無料

○接種期間 10月1日(水)～平成21年1月31日(土)

※医療機関によっては、1月30日までのところあり

○接種方法 医療機関での個別接種(要予約)

○実施医療機関 指定の医療機関

※高齢者の予防接種は、県内であれば接種できる医療機関がありますので、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。

※1歳から未就学児のお子さんが予防接種を受ける際は、必ず母子健康手帳をご持参ください。市外の医療機関では、坂口こどもクリニック(松浦市)、やまぐち小児科(佐々町)で接種できます。

※度島診療所、大島診療所は、接種日を指定しています。



県指定有形文化財 キリシタン禁教の足音

Vol.36

豊臣秀吉 キリシタン禁制定書一通

天正15(1587)年、島津氏を破り九州を手中に収めた豊臣秀吉は、博多の陣中でキリシタン禁制定書、通称「伴天連追放令」を發布します。内容は五か条で示され、日本は神国であり、キリスト教は邪教であるこ



と、キリシタンが神社仏閣を壊すこととは不届きであること、伴天連(宣教師)は20日以内に立ち去ることなどが定められています。この追放令は、商船や個人の信仰について厳しく対処することはなかったため、効果がありませんでした。しかし、この発布をきっかけとしてキリシタン信者にとっては苦しい時代へ入っていくこととなります。本品は、大高壇に書かれ、縦46cm、横67cmです。

文化財DATA

- 名称 豊臣秀吉キリシタン禁制定書一通
- 種別 県指定有形文化財・書籍
- 指定年月日 昭和43年4月23日
- 所有者 松浦史料博物館
- 所在地 平戸市鏡川町12

はらじょうこういんえいならびにじょうちゅうす
 寛永14(1637)年、天草・島原地方を中心にした一揆が起こります。一揆軍は地方の代官所を襲撃し、最後に廃城となっていた現在の南島原市にある原城に籠城することとなり、その数は3万7千人にも及びました。この島原の乱が勃発した年は、江戸幕府が慶長8(1603)年に開かれてすでに34年がたっており、この時期に起きた一揆は幕府に衝撃を与えたと思われれます。原城は一方が断崖となった天然の要害であったため、幕府側は鎮圧に約5か月を要することとなります。

本品は、縦186cm、横195cmの紙本着彩図で、原城内と幕府軍の布陣が描かれています。乱が平定されてからもない時期に描かれたもので、当時の様子を正確に伝えていると思われれます。

文化財DATA

- 名称 原城攻囲陣営並城中図
- 種別 県指定有形文化財・絵画
- 指定年月日 昭和43年4月23日
- 所有者 松浦史料博物館
- 所在地 平戸市鏡川町12

【用語解説】
 *要害とは、守りに有利な険しい地形の場所を指します。



また、幕府から要請を受けたオランダ商館が船を向かわせ、原城に向かつて砲撃を行っていた様子も描かれています。近年、原城跡では発掘調査が実施され、鉄砲玉を溶かして作ったクルス(十字架)などが検出されています。



下山 一さん(85歳)
(大野町在住)

老人会の役員を長年経験し、県老人クラブ連合会の運動会でも大活躍していました。現在は、季節の野菜を植えたり家の周りの植木を剪定したりと体を動かす毎日を過ごしています。

●元気の秘訣●

天気がいい日は自分のペースで外で体を動かす。毎日ちょっとの晩酌をして早寝早起きをする。



神田 フクさん(81歳)
(生月町館浦在住)

生月で生まれ育ち若いころに美容院を開業し、50年以上たった今も美容師として働いています。最近は体がなまらぬようにと毎日30分家の近くを歩いて健康に心がけています。

●元気の秘訣●

くよくよせず、物事を前向きに考える。人との付き合いを大切に、感謝の気持ちを忘れない。



Secret of Lively





平戸
旬
素材
Hirado Delicacies

秋のカマスは、
脂のノリも、旨みも一味違う。

※写真の料理は、漁師食堂「母々の手」に提供していただきました。



Interview

近藤 孝子 環境ボランティア
将来、市民農園を作って、
地球に優しい野菜作りをしたい。

美しい平戸を子どもたちに残したい。
EM運動や生ごみリサイクル活動を通じて、成果が出たときが私の何よりの喜びです。



夏の終わりを告げるかのように盛んにセミが鳴いている山間の畑で生ごみを使った土作りに余念のない人がいます。EM(有用微生物群)菌を使った環境浄化活動を行っている近藤孝子さんです。近藤さんは、もともと家庭菜園が趣味で、あるとき生ごみリサイクルについての講演会を聞いたのがきっかけで、生ごみを使った土作りに取り組み始めました。何度も何度も講習会や講演会に足を運び、そして実際に何度も何度も土作りに挑戦。時には失敗して悪臭のする土ができた時もあったそうです。「生ごみを堆肥にして作った野菜は、

もちろん無農薬で、野菜が持っている本来の味がするんです」と近藤さん。現在、平戸の環境美化推進のため、「市民のみなさんを対象に「生ごみリサイクル教室」を開き、EM発酵液の作り方や使い方、生ごみリサイクルの土作りなどの勉強会を開くようになったそうです。

「将来、市民農園を作って、市民のみなさんと一緒にいろんな野菜を作りたいですね」と笑顔で夢を語る近藤さん。市民のみなさんも平戸の未来のために、美しい平戸を子どもたちに残すために、地球に優しい環境浄化活動を始めてみませんか？



漁師食堂「母々の手」
綾香 由紀さん
©主師町(33)

秋の焼き魚は、アカカマスが脂ののって一番のおススメです。

カマスは、笛や太鼓の音が聞こえる秋祭りのシーズンになると旬を迎えます。その年の夏に生まれたカマスは、猛烈な勢いで小魚を捕らえて食べ、ひと潮ごとに大きくなり、脂がのって旨みが増すからです。カマスは水分が多いため、焼き魚に向いています。鮮魚の塩焼きもふつらとした身が何とも言えずおいしいのですが、特に、昔から「カマスの焼き食い一升飯」と言われて香ばしく、きつね色に焼けたカマスの開きは炊き立てご飯との相性が抜群です。家庭で簡単に干物を作る方法は、まず、頭から背開きしたら、小骨や血合いを丁寧に取り除き、表面が白くなるくらいの塩をして5分ほど置きます。その後、すぐに水洗いをしてペーパータオルで水気をふき取り、ふきんに包んで冷蔵庫に一晚入れておいたら出来上がり。おいしく作るコツは、魚の鮮度を落とさないよう手早く作ることだそうです。秋のカマスは、形も良く脂もものっているのです。この季節にぜひ味わってみてはいかがでしょうか。



カマス

(写真は、アカカマス)

◎スズキ目カマス科に属し、代表的なものにアカカマス・ヤマトカマス(クロカマス)がある。高級とされるのはアカカマスの方で、旬は秋。今では定置網でそのほとんどが獲れるのだが、鋭い歯で動くものなら何でも食べるほど性格はどう猛。肉質は白身で淡泊な味なため、塩焼きや開きで食べるのが美味。



生涯学習実践人
近藤 孝子さん
◎大山町(57)

北部EM運動推進協議会会長・長崎一域環境アドバイザー・長崎県食育アドバイザー・長崎県温暖化防止活動推進員など積極的に務める。趣味は家庭菜園・手芸(エコクラフト)。



02 食のワークショップー平戸素材の劇場ー

地元景観を生かし、地元素材にスポットをあてたワークショップを10月から2月まで計5回行います。

第2回 『金山文化を食す!』

■とき 10月26日(日)午前11時～午後1時

■ところ 館浦漁協 大敷食堂

■参加費 2,500円

■定員 30人限定【先着順】

■講師 食環境ジャーナリスト 金丸弘美氏

■内容 平戸市では「シイラ」を地方名「金山(かなやま)」と呼びます。昔、大量に獲れて大金が得られたことから「金山」となったのであろうといわれています。生月地区館浦漁協の定置網には季節によりさまざまな魚が獲れますが、中でも秋の「金山」は全国4位の水揚げを誇り、地元では刺身や茶漬けで好まれて食べられます。今回、生月地区館浦に伝わる「金山」の食文化をさらにパワーアップさせ、新たな金山文化を美味しくいただきます。漁師による豪快な「金山」のさばきも必見です!お土産には超珍味「金山の塩辛」をお持ち帰りください。



ワークショップのススメ

食環境ジャーナリスト かなまるひろみ 金丸弘美氏

ワークショップ(参加型講座)は、平戸の素敵な場所で、料理家が地域の最上の食材を使い料理を披露します。調理法や、食材の素晴らしさなど食の文化までを学びながら食べるという、ちょっとほかではない極上の料理会。何よりおいしいのが嬉しい会です。

料理家、農家や漁業関係者など、普段ではなかなか一緒になれないメンバーが集まります。そして食の専門家たちが語ってくださることで、身近な食を通して、平戸の食の豊かさを、あらためて知ることができるでしょう。気軽に参加ができて、食を通して地域を再発見ができるという嬉しい機会です。昨年は、各地から多くの方が来てくださり大好評でした。ぜひお出かけください。



【プロフィール】
1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー。執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、食育のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開、各学校での食の講師なども手がける。

Human resource Development Project for Tourism in Hirado and Matsuura 平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト

観光産業を機に、地域の活性化と雇用の創出を目指します!

<http://www.city.hirado.nagasaki.jp/jinzai/>

「①特産品開発」、「②食・地産地消」、「③もてなし」、「④体験型観光」の4つの分野における人材を育成し、地域産業の再生による雇用を目的に実施しているこのプロジェクトは、9月に実施した『基礎講座』にも多数の市民のみなさんに参加していただきました。

10月～11月上旬も各分野において活躍されている講師を招いて実施します。

また、10月からは、食環境ジャーナリストとして全国で活躍されている金丸弘美氏をお招きして、『「食」のワークショップー平戸素材の劇場ー』を開催しますので、ぜひご参加ください。

お問い合わせ

平戸・松浦地区観光人材育成協議会事務局(観光商工課内) ☎内線2276

E-Mail: kankou_jinzai@city.hirado.lg.jp

URL: <http://www.city.hirado.nagasaki.jp/jinzai/>

※どなたでも参加できますが、参加を希望する場合、事前に申込みが必要です。応募多数の場合、参加できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

講座のご案内

市民のみなさんの積極的な参加をお待ちしています!

01 目玉商品・新みやげ品開発人材育成コース【特産品開発】

地域の素材を生かした新たな魅力ある特産品を創出できる人材の育成を目的としたコースです。

『売り上げを伸ばすビジネスプランの作り方!』

■とき 10月21日(火)午後2時～午後4時

■ところ たびら活性化施設研修室1・2

■講師 村上 隆英氏(株式会社ジーコム 代表取締役社長)

■内容 前半はマーケティングの基礎について理解できるよう、実例を交えた基本的な話と売上を伸ばすために必要な、マーケティングに基づく事業計画指針(経営指針書)作りのお話をします。後半は経営指針書を参加者自らが考えて書き出しながら、計画手順や売上・コスト・利益の関係をわかりやすく学びます。これからビジネスを開始したり見直す上での必須事項について基礎を学び、行動計画が明快になるようチャレンジしてもらいます。

『「儲かる仕掛け」の作り方!』

■とき 11月5日(水)午後2時～午後4時

■ところ たびら活性化施設研修室1・2

■講師 横石 知二氏(株式会社いろどり 代表取締役副社長)

■内容 高齢・過疎の徳島県上勝町で、しかもさしたる資源もない環境から年商2億6千万円の地域一大事業「つまものビジネス」を立ち上げた横石氏が、町を元気にさせる仕組み作り、環境と経済を循環させる仕組み作り、葉っぱを料理の「つま」として売る株式会社いろどりのビジネスなど、地域の資源を生かした「儲かる仕掛け」の作り方についてお話します。

「人との出会い」、これが今回の交流事業での僕の大切なキーワードでした。いろいろな人と出会い、自分の世界観を広げたいと思いました。でも実際は、食べ物の違いや親と離れての生活などの不安な気持ちを抱えたままオランダへ向けて出発しました。日が経つにつれてその不安は、まだ帰りたくないという気持ちに変わっていききました。それは、この交流事業を支えてくれたスタッフのみなさん、オランダの人たち、そして平戸の仲間との出会いがあったからだと思います。この先、生きていく中で貴重な宝物となりました。

「人との出会い」



田平中学校 2年・DF
山口 楓馬 選手

■参加した動機は？
僕は、オランダ人が明るくて話しやすい人という印象があり、いろいろな人と出会い、自分の世界観を広げるために参加しました。

Yamaguchi Fuma

この8日間の中で、強く印象に残っているシーンが二つあります。一つ目は、オランダについた日の船での移動。その往復四時間の中で、オランダの人だけでなく、平戸の仲間とゆっくと会話ができて、普通にコミュニケーションが取れるようになり、仲間の一員になれた気がしました。二つ目は、VVS Bのクラブハウスでのバーベキュー。出会いの数だけ別れは増えるもので、はじけるような楽しさの中に、別れを思う寂しさが入って、言葉では表しにくいものでした。

この交流事業に参加したことで、分かったことがあります。人に出会い、わなければ、前に進むことができないということ。この交流も出会いがなければ、成功することはなかったと思います。そう分かったからこそ、これからの出会いを大切にしていこうと思います。それが一期一会の出会いであるとしても、きっと自分を変えてくれると思うから……。

「人の優しさ」



南部中学校 2年・MF
山下 陽輔 選手

■参加した動機は？
僕は、外国に行ったことがなく、この国際交流事業があることを知り、サッカーの強い国、オランダに行きたいと思い参加しました。

Yamashita Yasuke

僕が青少年日蘭交流事業に参加し、オランダを訪れて心に残ったことは、オランダの風景の素晴らしさ、VVS Bサッカークラブの1軍選手による試合などたくさんありました。でも、一番心に残ったことは、ホームステイ先の家族や、VVS Bのチームの人たちの優しさでした。

初めてのホームステイで言葉の違いや文化の違いがあり、知らない所の生活は大変だと思っていたけれど、言葉も通じない僕たちを温かく迎えてくれました。優しくオランダのことを教えてくれて、少しではあったけどジェスチャーなどで

コミュニケーションをとることができ、話を通じると言葉の壁を越えることができたなど少し感じました。

また、一緒にサッカーをしたり、食事をしたり、話をすることで、VVS Bのチームの人たちともすぐに仲良くなれました。オランダの人は日本人よりも、気軽に知らない人にも話しかけてくれるので、すぐ仲良くなれたように思います。

最後に、僕は日蘭交流事業に参加して、ほかの人たちに対する優しさ、思いやりの心の大切さや、オランダの人たちの心の広さなどを学びました。これからはオランダの人たちに優しくしてもらった分、自分の身の回りの人たちに優しくしていきたいと思っています。

また、来年オランダの人たちが日本に来た時には、それ以上に優しくしたいと思います。

このような経験をさせていただいたスタッフのみなさん、一緒に行った先生に感謝しています。



▲クラブハウスでのバーベキューの後、VVS B選手のユニフォームを着てホストファミリーとの記念撮影



▲オランダ滞在最後の夜にクラブハウスにてプレゼントされたVVS B選手のユニフォームを着てみんなで記念撮影



- 1 2 3 VVS Bサッカークラブとの親善試合での集合写真と試合風景
- 4 隣町のヴォゲレンザン市までみんなでサイクリング
- 5 ノールトワイケルハウト市役所の議場で、ゴーハット市長からオランダ議会の説明を受けている様子



サッカーを通じて国際交流
～青少年日蘭交流事業～



今年で9年目を迎えた
青少年日蘭交流事業

8月14日の出発式でみなさんの温かい見送りを受け、訪問団22人は、オランダ・ノールトワイケルハウト市に旅立ちました。今年のホームステイの受け入れ先は、昨年平戸を訪れた少年たちの家庭でした。成長した彼らに歓迎を受け、事業後にも交流が続いていることに感動し、これまで築き上げてきたものを感じました。

オランダでは、VVS Bサッカークラブの人たちからお世話をしていただき、オランダ少年とのサッカートレーニングや親善試合、市長表敬訪問、サイクリング、オランダ式グランドゴルフや老人ホームでのボランティア活動など、ホームステイをしながらオランダの生活に直接触れ、8日間の国際交流を行いました。

打倒！VVS B 親善試合

親善試合では昨年の雪辱を果たすべく、選手たちは打倒VVS Bに闘志を燃やしていました。試合が始まり開始12分、MF久松貴大選手(南部中)がドリブルからシュート、先制ゴールを鮮やかに決めました。さらに16分には田中大樹選手(南部中)が2点目を押し込み、今年こそ勝てるという期待が膨らみました。しかし、体格で勝るオランダチームの猛攻に合

い、前半を2対2で折り返しました。後半も、前半のオランダペースのままゲームが進み、主導権をとれないうま3点を失い、結果5対2で敗れました。主将を務めた四田真博選手(南部中)は、「2点先制したときはうれしくて勝てると思ったけど、オランダのパワーに圧倒された。精神力と集中力を磨いて、これからの試合に活かしたい」と話していました。

交流を通じて感じたもの

帰国後、訪問団の大石団長が選手たちに贈った「出会いはいつとも偶然ではなく必然である。この交流での出会いを大切にしたい」という言葉にこの交流に対する思いが込められていました。

選手たちは、今回の交流を体験したことで新しい一歩を踏み出したのではないかと思います。異文化に触れ、世界観や価値観が広がっただけでなく、多くの人との出会いやコミュニケーションを通じて、お互いを理解することの大切さを知りました。このことは、サッカー技術の向上に役立つこと以上に、国際交流の糸口をつかみ、オランダと平戸市の友好をさらに深めることにもつながったと確信しています。

お問い合わせ
企画課地域振興班(☎内線2338)

(2) 部門別職員数の状況と主な増減理由

部門	区分	職員数		対前年 増減	主な増減の理由
		平成19年度	平成20年度		
普通会計部門	議会	6	6	0	
	総務	97	96	△1	事務事業の合理化による縮小
	税務	24	22	△2	事務事業の合理化による縮小
	農林水産	57	52	△5	事務事業の合理化による縮小
	商工	15	18	3	業務の充実による増
	土木	41	41	0	
	民生	50	45	△5	事務事業の合理化による縮小
	衛生	27	26	△1	事務事業の合理化による縮小
	小計	317	306	△11	
	教育	78	77	△1	事務事業の合理化による縮小
公営企業等会計部門	消防	73	74	1	出張所開設に伴う業務増
	小計	468	457	△11	
	病院	138	141	3	医師、看護婦などの補充による増
	水道	28	28	0	
	交通	7	6	△1	今後の運営協議中のため船員不補充
合計	その他	30	33	3	業務の充実による増
	小計	203	208	5	
合計		671	665	△6	
		[715]	[715]		

(注) 【 】内の数字は、条例定数の合計です。

4 特別職の給料などの状況

区分	給料月額など
給料	市長 712,000円
	副市長 566,500円
	区長 493,000円
報酬	議長 394,000円(415,000円)
	副議長 330,000円(347,000円)
	議員 310,000円(326,000円)
期末手当	市長 3.35月分(19年度支給割合)
	副市長
	区長
	議長 3.35月分(19年度支給割合)
退職手当	(算定方式)
	市長 給料月額×在職年数×600/100
	副市長 給料月額×在職年数×360/100
	区長 給料月額×在職年数×240/100
(支給時期) 在任期間ごと	

(注) ①地域自治区の長として、生月支所・大島支所には区長(特別職)を置いています。
②平成19年4月1日から平成21年11月5日までの間、議長、副議長および議員の報酬を5%減額しています。報酬の()内は、減額措置を行う前の金額です。

お問い合わせ
総務課人事班 ☎内線2318

2 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

平戸市		国	
1人当たり平均支給額 (19年度) 1,472,000円		—	
(19年度支給割合) 期末手当 3.0月分	勤勉手当 1.5月分	(19年度支給割合) 期末手当 3.0月分	勤勉手当 1.5月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置 ・役職加算 5～15%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

(2) 退職手当

平戸市		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(5～50%加算) (退職時特別昇給 なし)		
1人当たり平均支給額 1,644,000円 26,507,000円		
国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(5～20%加算)		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

3 職員数(一般職)の状況

(1) 年齢別職員構成の状況

区分	職員数	区分	職員数
20歳未満	2人	40歳～43歳	58人
20歳～23歳	22人	44歳～47歳	68人
24歳～27歳	45人	48歳～51歳	64人
28歳～31歳	82人	52歳～55歳	90人
32歳～35歳	82人	56歳～59歳	73人
36歳～39歳	74人	60歳以上	5人
計			665人



市職員の給与と定員管理

市職員の給与は、地方自治法・地方公務員法に基づき、市議会の議決を経て条例で定められています。市では、職員の給与などについて市民のみ皆さんの理解を深めていただくため、その主な内容をお知らせします。掲載している数値については、平成20年4月1日現在のものです。

1 職員の平均給与月額、初任給などの状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額

区分	および平均給与月額の状況		
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.3歳	306,500円	348,087円
技能労務職	52.9歳	351,900円	360,436円
うち学校用務員	51.4歳	346,808円	352,616円
うち給食調理員	52.7歳	349,152円	355,966円
消防職	41.7歳	301,300円	362,378円

(2) 職員の初任給の状況

区分	平戸市	国
一般行政職	大学卒 172,200円	172,200円
	高校卒 140,100円	140,100円
技能労務職	高校卒 137,900円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒 247,692円	317,047円	346,655円
	短大卒 219,735円	291,033円	331,550円
	高校卒 210,948円	283,031円	315,875円

(注) ①本市財政健全化の人的費抑制策として、平成19年4月1日から平成22年3月31日までの間、職員の給料を5%減額しています。
②「平均給料月額」とは、平成20年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
③「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計しており、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
④国家公務員・類似団体のデータにつきましては、情報提供があり次第、市ホームページにて掲載します。





生涯にわたって、学習しながら豊かなまちづくりに貢献している個人・団体・地域を表彰します。あなたの身近で生涯学習まちづくりに貢献している人や団体を推薦してください。

生涯学習まちづくり表彰者を推薦してください

● 生涯学習課生涯学習推進班
☎内線2625

● 表彰要件 市内で、原則として5年以上、次のいずれかの活動実績があり、今後も引き続き活動や運営が期待できる市内の個人・団体・地域を対象とします。

- 対象活動
 - 生涯のいつでも、どこでも、自由に学ぶことができるまちづくりに貢献したと認められるもの
 - 長年、自宅の一角を無料で開放して、学習の場を提供しているなど
 - 学習した成果が活かされ、適切に評価されるまちづくりに貢献したと認められるもの
 - 公民館講座などで身につけた技術などを、無償で人に指導しているなど
 - いきいきと光り輝くまちづくりに貢献したと認められるもの
 - 環境美化を一人でコツコツ取り組んでいるなど
 - 温かみのあるまちづくりに貢献したと認められるもの
- 応募方法 生涯学習課または各教委分室、各公民館に備え付けの所定用紙に必要事項を記入の上、提出してください。自薦・他薦は問いません。
- 応募締切日 10月21日(火)
- 選考および表彰 「平戸市生涯学習まちづくり表彰者選考委員会」において審査し、受賞者は11月3日(祝・月)開催予定の「生涯学習まちづくり表彰式」にて表彰します。

● 面積が過剰となった要因
① 国土調査を行っていない地区があること
② 営農計画書に申告漏れがあること
③ 改善へ向けた今後の取り組み
現在は、市の水田台帳を基礎に生産調整を実施していますが、水田面積の違いや水田の申告漏れなどを再調査し、水田台帳の再整備を実施します。米の生産調整は、すべての農政の基本となる施策ですので、台帳整備にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



昨年未だに国が把握する水稲作付面積と本市からの報告面積との間に差があることがわかり、国は本年7月に本市で実態調査を実施し、8月に本市に対して水稲作付面積が過剰であることを指摘されました。調査結果は、本市の作付目標面積を大幅に上回り、151ha超過しています。

水稲の生産調整・台帳整備にご協力ください
☎内線2261
農林課農務班

Topics

夏休みの猛暑の中、大作を完成!

9月14日、直売所「瀬戸の寄道」駐車場で、北松農業高校美術部(福本香菜部長を含む21人)が制作した壁画「恵みある郷土に感謝」の除幕式が開催されました。壁画は、直売所の大型冷蔵庫側面に描かれており、縦2.3m、横10.3mの大きなもので、今年4月に「地産地消をアピールしたい」と地産地消を進める会(松本一郎会長)が依頼したもの。制作は、同校の非常勤講師、平野光榮氏の指導の下、7月10日から約2か月かけて完成させました。



◎市役所各課へは代表番号(☎0950-22-4111)からお回しします

募集

平成21年度「児童福祉週間」の標語を募集します

☎内線2571
福祉事務所子育て支援班

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間(5月5日～11日)」と定めています。平成21年度の児童福祉週間における取り組みの象徴となる標語を募集します。

- 募集内容 元気で頑張る子どもたちを応援する標語や、未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語
- 応募締切日 10月8日(水)
- 応募方法 福祉事務所子育て支援班に備え付けの応募用紙に標語、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入の上、お申し込みください。

お知らせ

水稲の生産調整・台帳整備にご協力ください

☎内線2261
農林課農務班

やらんば! 平戸

元気にするまちづくり

協働 SERIES 6



「市民活動を応援しています」

【お問い合わせ】

企画課地域協働推進室
☎内線2333

生月支所市民協働課
☎内線4111

田平支所市民協働課
☎内線5111

大島支所市民協働課
☎内線6112

協働によるまちづくりを進めるには、主役である市民のみならず一人ひとりが地域のまちづくりに対して興味を持ち、積極的に関わっていただくことが必要です。市では、市民活動へのきっかけ、あるいは地域の活性化を目的に活用できる新たな支援制度を創設していますので、お気軽にご相談ください。

■具体的な制度

【やらんば市民活動モデル事業】

○内容 市で選定したテーマについて、市民活動団体から提案いただく事業です。

○支援額 1団体あたり100万円を限度

【地域コミュニティ活動推進事業補助金】

○内容 市税の約1%を活用し、合併前の旧市町村ごとに予算を地域配分。地域の特性を活かしたまちづくり事業を企画・実施する市民活動団体に対して助成する事業です。

○支援額 1団体あたり100万円を限度

※対象経費ごとに補助率有

【市民カアップ支援事業補助金】

○内容 市民活動団体の拠点施設整備や休憩施設などの整備に対して助成する事業です。

○支援額 1団体あたり300万円を限度

※事業内容や段階的に補助率を設定

■申請要件

- ①各支援制度とも、市内に住所を有する5人以上で組織された非営利団体か、営利団体であっても事業内容が公益的な場合は可。また、市内で実施する事業であること。ただし、市外で実施することにより、事業効果が期待できる場合は可。
- ②事業が、市や他の機関、団体への要望を行う内容とならないこと。
- ③事業内容が、市や他の機関、団体から既に受けている助成対象の事業でないこと。
- ④提案団体の運営助成や備品等財産の取得を目的としないことなどです。

◎平戸市地域コミュニティ活動推進事業補助金(2次)の採択団体が決定しました

採択団体名	事業名	交付額
平戸地区		
志々伎体験型振興会	じのものを活かした特産品開発事業	500,000円
宝亀の史跡を守る会	地区内史跡名所の保存維持活動事業	420,000円
南部地区子育て支援連絡協議会	南部地区子育て支援事業	207,000円
ピンクリボンひらど・A I . A I	乳がん検診啓発事業	600,000円
獅子町活性化推進協議会	町民協働の景観保全と耕作放棄地の利活用による町おこし事業	580,000円
生月地区		
ひまわり会	地元食材で生き生きふれあい給食事業	101,000円
生月スタンプ会	商工業活性化スタンプ活用推進事業	571,000円
食生会	安心安全な食生推進事業	305,000円
さつき会	生月のツワを子どもらに	204,000円
田平地区		
平戸市商工会青年部	光のフェスタ共同イベント事業	510,000円
図書館友の会	読書への関心を高めるための講演会	176,000円
荻田浮立応援隊	子供荻田浮立応援事業	751,000円
万場OB友の会	植栽による環境美化	412,000円
深月村おこし推進委員会	居住環境景観の改善	638,000円
咲かそう会	荻田に夢を咲かせましょう	314,000円
大島地区		
和い和い本舗	トールペイントで郷土を知る～地域元気づくり支援～	296,000円

お知らせ

INFORMATION

法人市民税(法人税割)の
税率を統一します

国税務課住民税班
☎内線2546

『旧町村の区域内に事業所がある法人は、申告の際にご注意ください!』
法人市民税の法人税割については、市町村合併に伴う経過措置として、旧平戸市14・7%、旧生月町・旧田平町・旧大島村12・3%と不均一課税としていましたが、10月1日から14・7%に統一します。10月1日以降に決算を行う事業所から適用になります。

「在宅寝たきり高齢者等
介護見舞金」を支給します

国保福祉課長寿福祉班
☎内線2586

在宅の寝たきり高齢者などを常時介護している家族の人に対して介護見舞金を支給します。
○支給対象者 65歳以上の在宅寝たきり高齢者などを家庭において6月以上常時介護している人
○支給金額 2万5000円以内
○申請期間 10月6日(月)～31日(金)
○申請方法 保険福祉課長寿福祉班、または各支所市民協働課、各出張所に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、関係書類を添えて申請してください。

市美術展覧会および
平戸文化まつりを開催します

国文化遺産課文化遺産班
☎内線2633

『市美術展覧会』
展示日程は、次のとおりです。お近くの会場で芸術の秋をお楽しみください。

- ▼田平地区
○とき 10月25日(土)午前9時～午後5時、10月26日(日)午前9時～午後4時
- ところ 田平町民センター
- ▼平戸地区
○とき 10月31日(金)～11月3日(月)午前9時～午後7時
- ところ 大島村離島開発総合センター
- ▼生月地区
○とき 11月12日(水)～11月16日(日)午前9時～午後5時
- ところ 生月町開発総合センター
- 『平戸文化まつり』
市内のコーラスや舞踊などの愛好家のほか華道、茶道の各流派が日ごろの練習の成果を披露。華やかな舞台と格調高いお茶のお手前、心満たされるひとときをお約束します。家族や友人をお誘いあわせの上、ぜひ、ご鑑賞ください。
また、午前中には教育委員会表彰や平戸市美術展覧会の表彰も行われます。

来春、小学校に入学する
幼児の保護者のみなさんへ

国学校教育課指導班
☎内線2613

小学校に入学する前に、あらかじめ身の状況を把握し、学校での集団生活に備えるために、就学時健診を左表のとおり行います。決められた期日に必ず受診してください。保護者のみなさんへ事前にご案内(通知はがき)を送付していますので、日時、場所、持参品を確認し、必要事項を記入の上、当日忘れないようお持ちください。

また、健診日までに「通知はがきが届かない」、「記載事項に誤りがある」、「健康上の理由などで受診できない」場合は、学校教育課までご連絡ください。
○対象者 平成14年4月2日～平成15年4月1日の間に生まれた幼児

▼就学時健診日程表

実施日	対象学校名	実施会場	開始時間
10月1日(水)	度島小学校	度島小学校	午後0時20分
10月3日(金)	中野小学校	中野小学校	午後3時00分
10月7日(火)	田平北小学校	田平町民センター	午後2時30分
	田平南小学校		
	田平東小学校		
10月8日(水)	生月小学校	生月町中央公民館	午後2時30分
	山田小学校		
10月10日(金)	獅子小学校	市ふれあいセンター(中部公民館)	午後3時00分
	根獅子小学校		
	細差小学校		
	大川原小学校		
10月14日(火)	田助小学校	田助小学校	午後3時00分
10月16日(木)	大島小学校	大島村離島開発総合センター	午後2時00分
10月22日(水)	中津良小学校	市多目的研修センター(南部公民館)	午後3時00分
	堤小学校		
	津吉小学校		
	志々伎小学校		
	志々伎小学校早福分校		
10月24日(金)	平戸小学校	平戸小学校	午後2時30分

平成20年度第2回危険物
取扱者試験が開催されます

国消防本部予防課
☎内線2134

危険物取扱者の試験が次のとおり開催されます。

- とき 12月7日(日)午前10時
- ところ 長崎県立大学
- 試験の種類 甲種、乙種(第1類～第6類)、丙種
- 受付締切日 10月14日(火)
- ※郵送の場合は、10月14日(火)の消印まで有効
- 受験願書の入手先 長崎県消防保安室 長崎県各振興局・地方局、県内の各消防署
- 試験準備講習会の開催
▼乙4類 10月15日(水)・16日(木)
▼丙種 10月17日(金)

オータムジャンボ宝くじの
購入は県内です!

国企画課企画調整班
☎内線2336

オータムジャンボ宝くじが、10月17日(金)まで発売されます。県内で販売された宝くじの収益金は、県内の道路や学校公園の整備など、さまざまな事業に使われます。

- 平成19年度は、771万8000円が本市に配分され、「図書購入」や「ごみ減量化対策」に役立てました。ぜひ、県内で購入しましょう。
- 価格 1枚300円
- 抽選日 10月22日(水)

大規模な土地取引には
届け出が必要!

国都市計画課都市計画班
☎内線2291

『10月は土地月間です』
土地は、私たちの将来のための限られた貴重な資源であり、地域全体の住みやすさや自然環境との調和などを考えて、適正に利用することが大切です。

国土利用計画法では、乱開発や無秩序な土地利用を防止するために、一定面積以上の大規模な土地取引をしたときは、利用目的などを届け出るように決められています。

お詫びと訂正

国総務課秘書広報班
☎内線2323

「広報ひらど」9月号で、次のとおり内容に誤りがありました。ここに訂正しお詫び申し上げます。

- 27ページ 出生コーナー
赤ちゃん 保護者 行政区
誤 市瀬 若菜 一三 赤坂
正 市瀬 若菜 一三 赤坂

職員退職のお知らせ
(平成20年9月30日付)

国総務課人事班
☎内線2317

- 企画課 松田 礼子
- 地域振興班 西川 恵子
- 農業委員会 宮木 順子
- 農地係 西川 恵子
- 議会事務局 宮木 順子

ソフトバンク佐々
(マックスバリュ佐々店前)
北松浦郡佐々町本原免107-1
TEL 0120-41-1597
営業時間:AM10:00～PM7:00(年中無休)

小さな車、大きな未来。
SUZUKI スズキセニアカー ET40
免許不要 カンタン操作 消費税不要 時速2～6km
株式会社スズキ自販長崎 平戸口営業所 平戸市田平萩田免1439-2
☎0950-57-1152

バンケットホール・アゼリア 1周年記念
ウェディングキャンペーン
2008年9月～12月にご成約の方に
○商品券や旅行券、電化製品などの商品の中から1点をプレゼントします。
○さらに、1周年の結婚記念日にお二人を一泊ご招待など7つの特典。
※但し、ご成約総額100万円以上の方に限ります。詳しくはホテルまでお問合せ下さい。
平戸海上ホテル 予約・お問合せ TEL/0950-22-3800
http://hiradokaiyohotel.co.jp

第5回リサイクル品抽選会を開催します

北松北部環境組合
☎26-13000

北松北部クリーンセンターでは、修理された自転車や家具類などのリサイクル品の抽選会を開催します。この抽選会は、施設に持ち込まれた廃棄物の再利用とリサイクルへの啓発を目的に行っているものです。当日は、一般ごみの受け入れもを行います。

- とき 10月13日(祝・月)午前10時～
- ところ 北松北部クリーンセンター

長崎空港日帰りバスツアーの参加者を募集します

長崎空港日帰りバスツアー
☎22-30600

12月にリニューアルして生まれ変わる長崎空港を見学に行きませんか。「空港保安防災教育訓練センター」など普段は見ることができない所へもご案内します。新しく変わった売店での買い物も楽しめますので、ぜひご参加ください。

- とき 12月3日(水)午前9時～午後5時(集合時間は午前8時50分)
- 集合場所 レストハウス前
- 定員 40人(先着順)
- 参加費 1000円(昼食、保険料込み)
- 申込締切日 11月7日(金)
- 申込方法 電話で平戸観光交流センターへお申し込みください。

パソコン講習の受講生を募集します

平戸市シルバー人材センター
☎22-31000

11月17日(月)～28日(金)午前10時～午後4時
○ところ シルバー人材センター
○受講対象 60歳代前半の人
○定員 20人(先着順)
○受講料 無料
○申込締切日 10月31日(金)
○申込方法 電話で平戸市シルバー人材センターへお申し込みください。

大落鼻灯台を一般公開します

大落鼻灯台を一般公開します
☎0956-31-5512

生月町の大落鼻灯台を一般公開します。
○とき 10月26日(日)午前10時～午後3時
○ところ 大落鼻灯台
○内容 灯台室内の公開、各種灯台機器・使用電球の展示など

NHK放送受信料の免除基準が変わります

NHK視聴者コールセンター
☎0570-077-077

10月1日(水)からNHK放送受信料の免除基準が次のようになります。
○全額免除 世帯員に「身体障害者」「知的障害者」「精神障害者」があり、世帯全員が市町村民税非課税の場合

半額免除 世帯主が視覚・聴覚障害者または重度の障害者(身体障害者・知的障害者・精神障害者)である場合

申請方法 免除基準に該当する人は、福祉事務所障害福祉班、各支所市民協働課・各出張所で手続きしてください。
○手続きに必要なもの 印かん・手帳(身体障害者・療育・精神)
※詳しくは、NHK視聴者コールセンターにお問い合わせください。

読み聞かせ講習会を開催します

読み聞かせの会「紙風船」(柿本)
☎53-0058

「絵本でつなぐ親子のきずな事業」で読み聞かせの実演と講演会を開催します。
○とき 10月18日(土)午後7時～
○ところ 生月町開発総合センター

無料法律相談を開催します

無料法律相談を開催します
☎0956-72-1196

10月9日(木)午後1時30分～午後4時30分
○ところ 北部公民館会議室
○内容 相続に関する相談など

氏名	年齢	死日	行政区
【平戸地区】			
高田 涼平	俊巳	戸石川	平戸地区
松永 奈津希	勝則	赤坂	平戸地区
久保 愛実	多仙	根獅子第3	平戸地区
松坂 青空	武志	大久保	平戸地区
村上 愛香	忠和	木引田町	平戸地区
岡山 愛未	義美	戸石川	平戸地区
西宮 咲里	浩憲	宮の浦	平戸地区
草野 絢斗	司	稗田	平戸地区
【生月地区】			
鈴木 菜央	和也	館浦浜	生月地区
田中 杏奈	康一	山田	生月地区
大浦 陽斗	雅治	館浦屋敷	生月地区
【田平地区】			
安村 かなな	義弘	万場	田平地区
大浦 咲希	直樹	永田	田平地区
野上 亜澄	博隆	釜田	田平地区
濱田 楓	秀昭	日の浦	田平地区
小田 諒	稔治	平戸口	田平地区
井沢 圭太	賢治	坊田	田平地区
福崎 沙恵	裕介	下寺	田平地区
川村 慶輔	雅喜	日の浦	田平地区

氏名	年齢	死日	行政区
【平戸地区】			
磯本 穂	成子	宮の浦	平戸地区
堀川 喜一	川内	川内浦	平戸地区
津上 安治	大志	大志々伎	平戸地区
中村 定行	川内	川内	平戸地区
未永 静子	木引	木引	平戸地区
長嶺 吉徳	度島	度島中部	平戸地区
中瀬 吉徳	獅子	獅子第4	平戸地区
小嶋 伊佐美	油	油	平戸地区
山添 伊佐美	油	油	平戸地区
川村 栄七	田助	田助	平戸地区
藤澤 優	紐差	紐差第4	平戸地区
児嶋 ヤエ	下大垣	下大垣	平戸地区
土田 慶典	戸石川	戸石川	平戸地区
大山 スエ	宝亀	宝亀第3	平戸地区
三好 忠嘉	田助	田助	平戸地区
岩崎 久幸	中の原	中の原	平戸地区
星野 久幸	中の原	中の原	平戸地区
平野 武一	薄香	薄香浦	平戸地区
藤村 享	志々	志々伎岡	平戸地区
日高 アサ子	大川	大川原	平戸地区
末吉 スミ	水垂	水垂	平戸地区
依屋 スエ	浦の町	浦の町	平戸地区
門谷 元吉	浦の町	浦の町	平戸地区
早田 美和子	清水	清水川	平戸地区
下川 崇之	大久保	大久保	平戸地区
【生月地区】			
内山 育夫	御崎	御崎	生月地区
丸田 政之	志部	志部	生月地区

■善意のともしび
篤志および香典返して、次の方々からご寄付がありました(敬称略)。
ひらどふれあい福祉基金へ
○田平町小手田免 迎 喜一(亡娘 幸恵)
■「やらんば!平戸」応援寄附金
○匿名希望(1名) 50,000円
平成20年9月22日現在
5件 総額 290,000円

■8月の交通事故
件数 8件
死者 0名
負傷者 12名
(重傷)4名(軽傷)8名

■8月末までの火災救急件数
火災 23件(30件)
救急 913件(765件)
()内は昨年同期

氏名	年齢	死日	行政区
【大島地区】			
山本 十一郎	御崎	御崎	大島地区
永田 采子	浦北	浦北	大島地区
松川 吉徳	堺目	堺目	大島地区
【田平地区】			
濱道 義夫	福崎	福崎	田平地区
川添 ハナ子	永田	永田	田平地区
江島 俊秀	釜田	釜田	田平地区
下家 博治	万場	万場	田平地区
山口 昇	下寺	下寺	田平地区
吉田 昇	日の浦	日の浦	田平地区
桃田 ミサヲ	野田	野田	田平地区
山内 重光	上里	上里	田平地区
【大島地区】			
南川 幸男	大根坂	大根坂	大島地区
白川 エイノ	的山	的山	大島地区
川下 エイ子	的山	的山	大島地区

戒名彫刻・クリーニング
改修・移設・合祀
創業70年 お墓のことなら何でもご相談下さい
墓石 設計 製作 施工
記念碑 松永石碑店
生月町山田免 2331 0950-53-2816

自宅葬もカトリック葬も安心価格!
セレモニーホール 聖宮
ご葬儀完了まで安心の料金コースを始めました。
総額30万円・50万円・75万円
100万円・150万円の各コース
がございます。
24時間受付 平戸市戸石川町978
(0950)22-5566

佐世保・県北タウン情報誌「コミコミプレス」
COMICOM PRESS
総合印刷 企画 デザイン 広告
KENHOKU PRINT
〒859-5152 長崎県平戸市鏡川町1308
TEL 0950-22-3878
FAX 0950-26-0045
kenhoku@minos.ocn.ne.jp

平戸・千里ヶ浜温泉
ホテル 蘭風
〒859-5132 長崎県平戸市川内町55千里ヶ浜
総合予約・お問合せ TEL/0950-23-2111



10 October

広報ひらど
2008
平成20年

	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
11	2	3	4	5	6	7	1
November	9	10	11	12	13	14	8
	16	17	18	19	20	21	22
	23/30	24	25	26	27	28	29

1	水	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～10:00) 生月町開発総合センター (受付 13:00～14:00)
2	木	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～10:00) 生月町開発総合センター (受付 13:00～14:00) ●母子健康相談 (受付 10:00～10:30) 平戸文化センター ●BCG・3～4か月児健診 (受付 12:30～13:00) 平戸文化センター
3	金	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～9:30) 壱部多目的集会施設 (受付 10:00～11:00) 御崎公民館 (受付 13:00～14:00) 壱部多目的集会施設
4	土	
5	日	
6	月	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～10:00) 堺目地区活性化センター (受付 13:00～14:00)
7	火	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～10:00) 山田地区活性化センター (受付 13:00～14:00) ●ポリオ (受付 14:30～15:00) 市多目的研修センター
8	水	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～10:00) 生月船員福祉会館 (受付 13:00～14:00) ●ポリオ (受付 14:00～14:45) 平戸文化センター
9	木	●胃がん検診(午前中のみ)および結核・肺がん検診 (受付 8:00～10:00) 生月船員福祉会館 (受付 13:00～14:00) ●ポリオ (受付 14:30～15:00) サン・ケア平戸 ●ポリオ (受付 13:30～13:45) 大島診療所 ●母子健康相談 (受付 13:30～15:30) 田平町福祉保健センター ●母子健康相談 (受付 14:00～15:30) 大島村離島開発総合センター
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	●体育の日
14	火	
15	水	●献血 (受付 9:45～11:15) 平戸市役所生月支所 (受付 11:50～13:00) 生月漁協おさかな市場 (受付 14:10～15:30) 生月船員福祉会館
16	木	●3歳児健診 (受付 11:45～12:15) 平戸文化センター ●チャイルドクラブ (受付 9:30～11:30) 生月保育所
17	金	●乳児健診 (受付 13:00～13:30) サン・ケア平戸 ●献血 (受付 9:30～12:00) 平戸市役所前 (受付 13:30～15:30)

18	土	
19	日	●献血 (受付 9:30～12:30) 平戸文化センター (受付 13:30～15:30)
20	月	
21	火	●特定健診および大腸がん・胃がん(午前中のみ)・結核・肺がん検診 (受付 7:30～11:00) 大島村離島開発総合センター (受付 13:00～15:30) ●2歳児歯科健診 (受付 13:00～13:15) 平戸文化センター ●乳児健診 (受付 13:30～14:00) 平戸市役所生月支所
22	水	●特定健診および大腸がん・胃がん(午前中のみ)・結核・肺がん検診 (受付 7:30～11:00) 大島村離島開発総合センター (受付 13:00～15:30)
23	木	●特定健診および大腸がん・胃がん(午前中のみ)・結核・肺がん検診 (受付 7:30～11:00) 大根坂漁民センター (受付 13:00～15:30)
24	金	●特定健診および大腸がん・胃がん(午前中のみ)・結核・肺がん検診 (受付 7:30～11:00) 的山活性化センター (受付 13:00～15:30)
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	●母子健康相談 (受付 10:00～10:15) 度島浦地区公民館
31	金	

度島地区母子健康相談日程変更のお知らせ 10月8日(水)⇒<変更後>10月30日(木)

「臓器移植についてご存じですか？」

－10月は臓器移植普及推進月間です－

- 1) 増え続けている人工透析者数
人工透析を受けている人は毎年1万人ずつ増え続け、現在約26万人にのぼっています。そのうち、長崎県では約3,600人です。
以前は腎臓病が透析をはじめの主な原因でしたが、現在は生活習慣病の一つである糖尿病が原因の1位となっています。
- 2) 1万人以上の移植希望者
人工透析をはじめると一生透析を継続しなければならず、また、100%本来の腎臓の代わりをすることはできないので、機能を取り戻すためには腎臓移植という方法しかありません。
全国で腎臓移植を希望している方は約1万2千人、そのうち長崎県は151人です。
- 3) 少ない腎臓移植
移植医療は提供者がいて初めて成り立つ医療ですが、現状では提供者が少ないことから、希望者のうち移植を受けることができるのは毎年約1%です。
- 4) 期待される臓器提供意思表示カードの普及
臓器提供意思表示カードは「臓器を提供する」「臓器を提供しない」というどちらの意思も表示することができるので、自分の意思を記入しカードを携帯しましょう。
■臓器移植や臓器提供意思表示カードについてのお問い合わせ
財団法人長崎県健康事業団 ☎0957-43-7131

☎お問い合わせ先

サン・ケア平戸(平戸市保健センター)	☎28-1000
生月支所市民協働課福祉保健班	☎53-2111
田平支所市民協働課福祉保健班	☎57-0977
大島支所市民協働課福祉保健班	☎55-2511



10 October

広報ひらど
2008
平成20年

	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	11						1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23/30	24	25	26	27	28	29

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2 ●小学校陸上競技大会 (ライフカントリー) 8:50~16:00	3 ●平成20年度「食」のワーク ショップ-平戸素材の劇場- 『酒と魚と音楽と』(福田酒造) 17:00~18:00 ●ほろ酔い気分で蔵シック (福田酒造)18:00~21:00 ●平戸地区戦没者追悼式(平 戸文化センター)10:30~	4 ●生月保育所運動会 (生月保育所園庭) 9:30~14:30 ●教会コンサートI (山田教会) 18:00~21:00
5 ●第32回田平町町民体育祭 (田平公園運動広場) 8:30~18:00 ●教会コンサートII (宝亀教会) 13:00~15:00 ●鯨文化交流大会 (生月町開発総合センター) 10:00~	6	7	8 ●中学校総合体育大会 駅伝競技(男女) (久吹ダム) 8:00~15:00	9 ●平戸・松浦地区観光人材 育成プロジェクト(新郷土 料理・地産地消推進人材 育成コース第4回基礎講 座)(市ふれあいセンター 調理室)14:00~17:00	10	11
12 ●第3回大島村体育大会 (大島中学校グラウンド) 9:00~15:00 ●山田保育所運動会 (保育所前グラウンド) 9:30~14:30	13 ●体育の日 ●リサイクル抽選会 (北松北部クリーンセンター) 10:00~	14	15	16	17 ●市民総合相談 (大島村離島開発総合セン ター)13:00~16:00 ●平戸城下歌仙灯笼まつり オープニングセレモニー (松浦史料博物館) 18:00~20:00	18 ●平戸城下歌仙灯笼まつり 平戸神楽(夜神楽)・茶会 (松浦史料博物館) 19:00~21:30
19 ●平戸市福祉健康まつり (平戸文化センター) 9:30~15:15	20	21 ●平戸・松浦地区観光人材 育成プロジェクト(目玉 商品・新土産品開発人材 育成コース第3回基礎講 座)(たびら活性化施設[研 修室1・2]) 14:00~16:00	22	23 ●年金相談 (生月支所) 10:00~15:00	24 ●平戸城下歌仙灯笼まつり ○町屋くんち料理 (各拠点会場) 11:00~21:00 ○伝統芸能披露 ・築地町のジャ踊り (木引田町)19:00~ ・宮の町の獅子舞 (宮の町)19:30~	25 ●市美術展覧会田平地区 (~26日)(田平町民セン ター)9:00~17:00 ※26日は16:00まで ●平戸くんち(御神幸・行 列)(旧町地区・市街地一 帯)10:00~ ●伝統芸能フェスタ(商店 街通りおよび平戸港交流 広場)15:00~
26 ●納税相談休日窓口 (市役所税務課) 9:00~17:00 ●平成20年度「食」のワーク ショップ-平戸素材の劇 場-『金山文化を食す!』 (館浦漁協大食堂) 11:00~13:00 ●平戸くんち(大大神楽) (亀岡神社)11:00~	27 ●平戸くんち(献茶式) (亀岡神社)13:00~	28 ●年金相談 (市役所3階会議室AB) 10:00~15:00	29	30	31 ●市美術展覧会平戸地区 (~11月3日) (平戸文化センター) 9:00~19:00	

●月健康テレホンプログラム

月	甲状腺機能亢進症(バセドウ病)
火	甲状腺の外科的な治療
水	百日咳
木	お年寄りの皮膚のかゆみ
金	歯の着色について
土日	妊娠と痔

佐世保 ☎0956-23-4300

- *祝日は前日のテープが流れます。
- *午前9時から翌朝午前9時までの24時間、同じ内容のテープが3分間流れます。
- *曜日ごとにテーマが決められ(日替わりメニュー)、月ごとに変わります。
- *内容は専門の医師・歯科医師が作ります。

長崎県保険医協会 ☎095-825-3829

休日の当番医

日・曜日	医療機関名	電話番号
5日(日)	柿添病院 鏡川町	23-2151
12日(日)	北川病院 浦の町	22-2344
13日(祝・月)	谷川病院 田平町	57-0045
19日(日)	柿添病院 鏡川町	23-2151
26日(日)	北川病院 浦の町	22-2344

各種相談のお知らせ

◎年金相談		
10月23日(木) 10:00~15:00	生月支所2階会議室	
10月28日(火) 10:00~15:00	市役所3階会議室AB	
◎市民総合相談		
10月17日(金) 13:00~16:00	大島村離島開発総合センター	
◎納税相談休日窓口		
10月26日(日) 9:00~17:00	市役所税務課	

今月の税

○市税の納期 10月31日(金)	
市県民税	3期
国民健康保険税	5期
介護保険料	5期
後期高齢者医療保険料	4期
『支えあおう 市税はみんなの未来のために』	

献血にご協力を

10月15日(水)	
9:45~11:15	平戸市役所生月支所前
11:50~13:00	生月漁協おさかな市場横
14:10~15:30	生月船員福祉会館横
10月17日(金)	
9:30~12:00	平戸市役所前
13:30~15:30	平戸市役所前
10月19日(日)	
9:30~12:30	平戸文化センター
13:30~15:30	平戸文化センター

『献血から生まれる愛の贈り物』

※「広報ひらど」から抜き取ってご利用ください。